

**各構成機関における令和4年度の実行状況及び
令和5年度の実行予定について**

【広島市自主防災連合会】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災マップの作成等を通じてまちあるきを行い、地域の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ まちあるきや防災マップの作成に関し、新型コロナウイルス感染症予防を徹底した上で、住民の参加を促し、地域の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認するよう促した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災マップの作成等を通じてまちあるきを行い、地域の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認する。[継続]
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時における地域の連絡網には、可能な限り携帯電話を使用するなど、停電時等でも情報を伝達できる連絡網の作成を促進する。 ○ 広島市防災情報メールや避難誘導アプリなど、災害時に必要な情報の入手手段の確保について周知する。 ○ 防災ライブカメラ設置の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災訓練時に防災情報メールによる訓練開始の伝達を行い、メールの伝達が確実に行われたかの確認を行うよう促した。 ○ 回覧等により、避難誘導アプリなどの情報入手手段の確保について周知した。 ○ 広島市の防災ライブカメラの設置制度について、住民へ周知し、設置を促した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時における地域の連絡網には、可能な限り携帯電話を使用するなど、停電時等でも情報を伝達できる連絡網の作成を促進する。[継続] ○ 避難誘導アプリや広島市防災情報メールなど、災害時に必要な情報の入手手段の確保について周知する。[継続] ○ 防災ライブカメラ設置の検討[継続]
行動する 学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災マップの作成等による災害危険箇所等の確認 ○ 自主防災組織等による防災訓練や防災研修会の開催 ○ 地域の各種団体と連携した防災訓練, 地域の特性を踏まえた防災訓練の実施 ○ 子どもが楽しめる防災訓練・フェアを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ まちあるきや防災マップの作成に関し、新型コロナウイルス感染症の予防を徹底した上で、住民の参加を促し、地域の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認するよう促した。 ○ 市内各地で小学校区単位の連合組織がそれぞれ防災訓練や研修会などを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災マップを活用した災害危険箇所、避難経路等の確認[継続] ○ 自主防災組織等による防災研修会や勉強会等の開催[継続] ○ 広島市総合防災センターの自主防災会研修への参加 ○ 地域の各種団体と連携した防災訓練, 地域の特性を踏まえた防災訓練の実施[継続] ○ 子どもが楽しめる防災訓練・フェアを実施[継続]
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難場所までの避難が困難な場合などに備えて、一時緊急退避施設（商業施設（駐車場、マンション、社宅等）を確保 ○ 非常持ち出し袋や家庭内備蓄の準備などの周知 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 区役所と連携して、マンションや民間施設と浸水時緊急退避施設の協定を結び、避難場所までの避難が困難な場合に備えるよう促した。 ○ 防災訓練や研修の際、非常持ち出し袋や家庭内備蓄の必要性について、リストや見本を活用して周知した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難場所までの避難が困難な場合などに備えて、一時緊急退避施設（商業施設（駐車場、マンション、社宅等）を確保[継続] ○ 非常持ち出し袋や家庭内備蓄の準備などの周知[継続]

【広島県消防協会】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域と連携した、ハザードマップ等を活用した防災訓練による災害危険箇所等の確認 ○ 地域住民の方と消防団（団員）と一緒にハザードマップ等を活用して、まち歩き等を実施し、危険箇所等の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組みを実施。県内の各消防団とも、新型コロナウイルス感染症の関係で多少の差はありますが、ようやく消防団本来の活動にもどりつつあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域と連携した、ハザードマップ等を活用した防災訓練による災害危険箇所等の確認〔継続〕 ○ 地域住民の方と消防団（団員）と一緒にハザードマップ等を活用して、まち歩き等を実施し、危険箇所等の確認〔継続〕
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県、市町等が発表する防災・避難情報の伝達手段及び住民の自主避難体制の構築 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 県、市町等が発表する防災・避難情報の伝達手段及び住民の自主避難体制の構築〔継続〕
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難行動要支援者の把握及び避難訓練の実施 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難行動要支援者の把握及び避難訓練の実施〔継続〕
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域で日常的に行われている行事にあわせた訓練の実施（例：とんどでの消火訓練、炊き出しなど） ○ ホームページを活用し、市町で独自に取り組んでいる活動の紹介 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域で日常的に行われている行事にあわせた訓練の実施（例：とんどでの消火訓練、炊き出しなど）〔継続〕 ○ ホームページを活用し、市町で独自に取り組んでいる活動の紹介〔継続〕
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消防団が所有する機械器具を活用した避難支援体制の構築 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 消防団が所有する機械器具を活用した避難支援体制の構築〔継続〕

【広島県女性防火クラブ連絡協議会】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織等と連携し、防災マップの作成及び災害危険箇所を確認（地域、行政等と連携し、地域住民に対して災害危険箇所などの確認を働きかけ） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災マップは配布されている。危険箇所確認は集まることがまだできていないのもう少し時間がかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織等と連携し、防災マップの作成及び災害危険箇所を確認（地域、行政等と連携し、地域住民に対して災害危険箇所などの確認を働きかけ）〔継続〕
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害発生の危険性を察知した際には、近隣への声かけによる避難誘導をきめ細かく実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 女性防火クラブとして最も重要であると考えており、これからも声掛けを続けていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害発生の危険性を察知した際には、近隣への声かけによる避難誘導をきめ細かく実施〔継続〕

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民とのつながりを深めるため地域で開催される防災訓練等への積極的な参加 ○ 日頃から、日常会話の中で、防災に関心を持ってもらえるよう取組を実施 ○ 他県との交流を行い、防災設備の見学等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導者研修会も開催されるようになり、各県の取組等も参考にしながら少しずつ行動できるようになっている。
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織、消防団等と連携し、防災訓練等に積極的に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ○ AED の講習は実施していきたい。
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 非常持出品（非常持出袋）の備えを促進（住宅用警報器に注意を促す） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 非常持出品（非常持出袋）の備えを促進（住宅用警報器に注意を促す）〔継続〕

【広島県社会福祉協議会】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域における防災・減災活動の推進支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町社協等が実施する災害ボランティア講座等を通して、7月豪雨災害を踏まえた防災・減災につながる平常時からの住民同士の支え合い活動（例；地域における見守り活動など）づくりを支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市町社協等が実施する関係者のネットワーク会議や講座・訓練等（8回、5市町）やボランティア事前登録（572人）等を通して、防災・減災につながる平常時からの住民同士の支え合い活動や関係機関の協働体制づくりを呼び掛け、取り組みを支援した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域における防災・減災活動の推進支援〔継続〕 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町社協等が実施する災害ボランティア講座やボランティア事前登録等を通して、防災・減災につながる平常時からの住民同士の支え合い活動（例；地域における見守り活動など）づくりを支援する。
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害ボランティア活動に係る資機材ストックヤードの維持管理 ○ 被災者生活サポートボランティアネットワークの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市町災害ボランティアセンター等へ迅速にボランティア活動用の資機材供給を行うための資機材管理など、災害時の円滑な被災者支援の環境整備をすすめた。 ○ 被災者支援の県域支援ネットワークでは、初動対応力強化部会における初動対応フローの検討に加え、IT支援力強化部会を新たに設置し、活動報告・現地調査等のデータ集約に向けたシステム開発について協議した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害ボランティア活動に係る資機材ストックヤードの維持管理〔継続〕 <ul style="list-style-type: none"> ・ 発災時に迅速に被災者支援活動をすすめるための資機材調整や管理等の環境整備をすすめる。 ○ 被災者生活サポートボランティアネットワークの強化〔継続〕 <ul style="list-style-type: none"> ・ 発災時の迅速かつ効果的な被災者支援に向けて、県域及び市町域での平時からの関係者間の情報共有や、ITを活用した災害ボランティア事前登録、ニーズ管理等を含めた協働の取り組みをすすめる。

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時における福祉施設・事業所の相互支援体制（広島さっそくネット）の運営支援 ○ 広島県災害福祉支援ネットワークの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内福祉施設・事業所向けのアクションチェックリストを作成し、取り組み内容を周知した。また、発災時のシミュレーション訓練を実施した。 ○ 広島県災害福祉支援ネットワーク会議を開催し、発災時に各団体等がどのように連携できるか意見交換を行った。また、保健・医療・福祉の専門職を構成員とする広島県災害福祉支援ネットワークワーキングにおいて作成した広島DWA T活動マニュアル、様式集をはじめ広報媒体や研修企画について、より実用性の高い内容となるよう協議した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時における福祉施設・事業所の相互支援体制（広島さっそくネット）の運営支援〔継続〕 ○ 広島県災害福祉支援ネットワークの強化〔継続〕 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島県災害福祉支援ネットワーク会議を開催し、平時から福祉関係機関・団体の更なる連携強化を図る。 ・ 広報媒体を活用して広島DWA T活動の周知に努め、広島DWA Tチーム員の登録者増加をめざす。 ・ 広島DWA Tチーム員を対象とした研修並びに市町等との連携による実践的な訓練を企画・実施し、広島DWA Tチーム員のスキルアップを図る。

【広島大学】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学内で作成する「安全衛生マニュアル」及び学内電子掲示板に、災害危険箇所を知るための情報（広島県防災 Web, ハザードマップ, 県民総ぐるみ運動ポータルサイト）の URL を記載 ○ 各附属学校の全児童・生徒・職員に斉防災教室の教材を配布。また、電子掲示板で学生・職員に教材等を紹介 ○ 行政等が発信する情報（災害危険箇所等の確認）について、学内電子掲示板及びメール等で学生・職員に対して情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学内電子掲示板に、災害危険箇所を知るための情報（広島県防災 Web, ハザードマップ, 県民総ぐるみ運動ポータルサイト）の URL を記載した。 ○ 各附属学校の全児童・生徒・職員に斉防災教室の教材を配布し、電子掲示板で学生・職員に教材等を紹介した。 ○ 行政等が発信する情報（災害危険箇所等の確認）について、学内電子掲示板及びメール等で学生・職員に対して情報提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学内電子掲示板に、災害危険箇所を知るための情報（広島県防災 Web, ハザードマップ, 県民総ぐるみ運動ポータルサイト）の URL を記載〔継続〕 ○ 各附属学校の全児童・生徒・職員に斉防災教室の教材を配布。また、電子掲示板で学生・職員に教材等を紹介〔継続〕 ○ 行政等が発信する情報（災害危険箇所等の確認）について、学内電子掲示板及びメール等で学生・職員に対して情報提供〔継続〕
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学内電子掲示板で、学生・職員に対して県防災 Web の周知及び防災情報メール（県・市）の登録の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学内電子掲示板で、学生・職員に対して県防災 Web の周知及び防災情報メール（県・市）の登録の促進を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学内電子掲示板で、学生・職員に対して県防災 Web の周知及び防災情報メール（県・市）の登録の促進〔継続〕

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害発生時の対応に係るマニュアルについて、学内掲示板に掲示するとともに、学生・職員に対して周知を徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害発生時の対応に係るマニュアルについて、学内掲示板に掲示するとともに、学生・職員に対して周知徹底した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害発生時の対応に係るマニュアルについて、学内掲示板に掲示するとともに、学生・職員に対して周知を徹底 [継続]
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学内電子掲示板に非常用物品の取り扱い方法や防災情報等を掲載 ○ 学生・職員への安全衛生教育で、地震対策・防災情報等について周知 ○ 災害に備えた危機管理の一環として、構成員を対象に安否確認訓練を実施（年2回） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学内電子掲示板に非常用物品の取り扱い方法や防災情報等を掲載した。 ○ 地震対策・防災情報等について、学内電子掲示板に掲示するとともに学生・職員に対して周知を徹底した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学内電子掲示板に非常用物品の取り扱い方法や防災情報等を掲載 [継続] ○ 学生・職員への安全衛生教育で、地震対策・防災情報等について周知 [継続] ○ 災害に備えた危機管理の一環として、構成員を対象に安否確認訓練を実施 [継続]
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 非常持出品の保管状況を確認し、補充等を行う [継続] ○ 専門業者による防災管理点検を行い、改善が必要な箇所については是正 [継続] ○ 「安否確認等マニュアル」及び「安否確認手順書の改定」に引き続き取り組む [継続] ○ 防災・減災研究センター関係 [継続] ～引き続き、相乗型豪雨災害のメカニズムの解明や災害を未然に防ぐための早期検知システム等の開発、災害に強いまちづくりの支援、研究成果の情報発信、人材育成等に取り組む。研究報告会、国際シンポジウムなどを予定。また、地域の防災に関する実情や課題に精通する行政との連携を図り、実践的な研究の成果を行政の施策、事業へ反映させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 非常持出品の保管状況を確認し、補充等を行う予定。 ○ 専門業者による防災管理点検を行い、改善が必要な箇所については是正した。 ○ 「安否確認等マニュアル」及び「安否確認手順書の改定」に引き続き取り組んだ。 ○ 防災・減災研究センター関係 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島県が制作した「ひろしま土砂災害体験 VR」（河川の氾濫）の制作に協力した。 ・ 6月に「自治体防災担当職員基礎研修」参加者42人、12月に「自治体防災担当職員専門研修」参加者21人、1月に「自治体防災担当職員実践研修」参加者8人を開催した。 ・ 10/23 ぼうさいこくたいの広島県のセッションに協力し、講師2名が登壇した。 ・ 10/26 東広島市が災害対応を担う職員を対象として、防災DXを推進するため実施した「リモートセンシング 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 非常持出品の保管状況を確認し、補充等を行う [継続] ○ 専門業者による防災管理点検を行い、改善が必要な箇所については是正 [継続] ○ 「安否確認等マニュアル」及び「安否確認手順書の改定」に引き続き取り組む [継続] ○ 防災・減災研究センター関係 [継続] ～引き続き、相乗型豪雨災害のメカニズムの解明や災害を未然に防ぐための早期検知システム等の開発、災害に強いまちづくりの支援、研究成果の情報発信、人材育成等に取り組む。研究報告会、公開セミナーなどを予定。また、地域の防災に関する実情や課題に精通する行政との連携を図り、実践的な研究の成果を行政の施策、事業へ反映させる。 また、令和5年4月から、広島大学東千田キャンパスに防災・減災拠点を設置

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
備える		<p>による被災状況把握に係る実践研修」において、リモートセンシング技術を活用する講義の企画・実施を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11/21 オープンディスカッション「防災分野におけるDX活用」(オンライン、対面のハイブリッド)を開催した。参加者94人 ・ががら山実証実験プロジェクトでは、引き続き観測地点でのデータ収集を行っている。 	<p>して、行政等とのさらなる連携強化に取り組む。</p>

【広島県私立中学高等学校協会】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知る	<p>○ 各校を設置する学校法人は、その規模や置かれた環境が異なり、個々で活動しているため、協会としての統一的な取組を行うことは、協会という立場からは難しいと判断している。そのため、各法人に意識向上を図るよう、会議等を利用して要請することにとどめることとする。</p>	<p>○ 6月30日付け広島県みんなで減災推進課からの「マイ・タイムライン」アンケート調査について依頼があった時に、協会から県内私学各中学校に対し、「マイ・タイムライン」の積極的な取り組みを依頼した。</p> <p>○ 学校が防災訓練、避難訓練等により日頃から災害時の対応について留意している。協会として定期的な取り組みについては行っていないものの、災害について周知しておいた方がよい事案等が発生した場合は各校へ周知等行うこととしている。</p>	<p>○ 各校を設置する学校法人は、その規模や置かれた環境が異なり、個々で活動しているため、協会としての統一的な取組を行うことは、協会という立場からは難しいと判断している。そのため、各法人に意識向上を図るよう、会議等を利用して要請することにとどめることとする。</p> <p>[継続]</p> <p>○ 災害について周知しておいた方がよい事案等が発生した場合は各校へ周知等行うこととしたい。</p>
備える	<p>○ 校長会を通じて、検討に至っていない助け合いネットワークの構築について、再度検討したい。その上で必要性や実効性が確認できるならば、構築に向けて進めていくこととする。</p>	<p>○ 学校が防災訓練、避難訓練等により日頃から災害時の対応について留意している。協会として定期的な取り組みについては行っていない。</p>	<p>○ 学校が防災訓練、避難訓練等により日頃から災害時の対応について留意している。</p>

【広島県PTA連合会】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知 る	○ 役員会や理事会において、防災教育に関する議題や情報交流を行う。	○ 役員会や理事会において、防災教育に関する議題や情報交換を行った	○ 役員会や理事会において、防災教育に関する議題や情報交流を行う。[継続]
察知する	○ テレビやラジオなどのマスメディア、行政放送、防災メールなど様々なツールを活用し、災害を察知するとともに、子供にもツールの活用方法を指導しておく。	○ 学校と連携し、災害を察知するための防災情報の指導を実施 ○ 災害にそなえ、様々なツールが活用できるよう家庭での取組や学校との連携を実施した。	○ テレビやラジオなどのマスメディア、行政放送、防災メールなど様々なツールを活用し、災害を察知するとともに、子供にもツールの活用方法を指導しておく。[継続]
行動する	○ 災害への備えとして、自分で判断し自分で行動できる子どもの育成を図る。 また、県教育委員会に対して、保護者と連携した災害教育の充実を要望していく。	○ 広島県教育委員会が実施している、自ら課題を発見し、自ら解決する方法を考えると いう取組と連携し、災害発生の場合どのような対応をとればいいのかなど、家庭内での取組を進めることを確認 ○ 災害にそなえ、様々なツールが活用できるよう家庭での取組や学校との連携を実施	○ 災害への備えとして、自分で判断し自分で行動できる子どもの育成を図る。 また、県教育委員会に対して、保護者と連携した災害教育の充実を要望していく。 [継続]
学 ぶ	○ 広報紙などのツールを使い、防災についての情報を提供する。	○ 広報紙による情報提供 ○ 令和5年8月の防災関係分科会準備	○ 広報紙などのツールを使い、防災についての情報を提供する。[継続] ○ 令和5年8月に広島県で日本PTA全国協議会の研究大会が広島で開催される。その分科会の一つで「防災教育」をテーマに開催する。そのため の情報提供も行う。
備 える	○ いろいろな災害についての知識や避難方法を親子で共有し、災害が起きた時の対処方法を事前に共有しておく。	○ まずは保護者自身が防災に対する知識や対処方法をしっかり把握しておく必要がある ので、保護者に対して学習の重要性を働きかけている。 ○ 広島県教育委員会が実施している、自ら課題を発見し、自ら解決する方法を考えると いう取組と連携し、災害発生の場合どのような対応をとればいいのかなど、家庭内での取組を進めることを確認	○ いろいろな災害についての知識や避難方法を親子で共有し、災害が起きた時の対処方法を事前に共有しておく。 [継続]

【広島県商工会議所連合会】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知 る	○ 主催会議や行事等の機会を通じ、会員に対し、災害危険箇所、避難場所・経路の確認が進むよう取組を促す。	○ 左記の取組を実施した。	○ 主催会議や行事等の機会を通じ、会員に対し、災害危険箇所、避難場所・経路の確認が進むよう取組を促す。 [継続]

【広島県商工会連合会】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各商工会における主催会議や行事等の機会を通じ、会員に対し、災害危険箇所、避難場所・経路の確認が進むよう取組を促す。 ○ 県内全商工会の「事業継続力強化支援計画」の実行支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内商工会の事業継続力強化支援を推進するため、商工会員事業者向けに、下記のセミナーを開催。 ① 事業継続リスク啓発セミナー（10月7日・11月4日開催 20名） ② 事業継続力強化計画策定セミナー（10月18日・11月10日開催 19名） ※計画作成数 15件 ○ 県内事業所の事業継続力強化計画作成を進めるために、作成メリットや必要性を伝える動画を作成し、ユーチューブで公開した。 (タイトル) 「事業継続力強化計画 (BCP) で補助金を獲得しよう! / 中小企業・小規模事業者向け / 広島県商工会連合会」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各商工会における主催会議や行事等の機会を通じ、会員に対し、災害危険箇所、避難場所・経路の確認が進むよう取組を促す。[継続]
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 必要な時に必要な情報が早期に収集できるように、災害情報の入手先（ホームページ、メール登録、電話番号等）を纏めて（登録して）おく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県商工会連合会 BCP の災害関連情報入手先を更新（併せて、ハザードマップ、関係機関連絡先等更新）を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 必要な時に必要な情報が早期に収集できるように、災害情報の入手先（ホームページ、メール登録、電話番号等）を纏めて（登録して）おく。[継続]
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 業務用 SNS での定期的な確認訓練を実施し、非常時における行動を身に着けることと、連絡体制に不備がないか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 業務用 SNS を活用して、7月と9月に職員安否確認を実施したことに加え、9月の台風の際は、事前の注意喚起を2回行った。これらにより、職員への非常時行動及び連絡体制確立等についての意識付けが実施できた。引き続き、発災時の通信手段として業務用 SNS を積極的に活用し、併せて訓練も計画する。 また、被害状況を管理するシステムにより、9月の台風14号の際は、各商工会より報告を受けた県内の被災事業者に係る情報を、中国経済産業局及び広島県と迅速に共有できた。（報告事業者数 12 件） ○ 事務局長会議で確認訓練の回答率や、お互いが声掛けすることの必要性を周知した。 7月回答率（94.4%） 9月回答率（92.3%） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 業務用 SNS での定期的な確認訓練を実施し、非常時における行動を身に着けることと、連絡体制に不備がないか確認する。[継続]

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県や市町からの依頼があれば、商工会主催の祭等イベントにて、ブース等を提供する。 ○ 引き続き、商工会事務局長会議において、災害対応等を学ぶ研修会を実施する。 ○ 全商工会の正副会長を対象とした防災に関する研修会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内商工会事務局長会議において、安否確認訓練の実施結果を報告し、災害時のSNSによる安否確認の運用基準について周知した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県や市町からの依頼があれば、商工会主催の祭等イベントにて、ブース等を提供する。[継続] ○ 県内商工会事務局長会議において、災害対応等を学ぶ研修会を実施する。[継続] ○ 県内商工会の正副会長を対象とした防災に関する研修会を実施する。[継続]
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発災時の被害を減少できるように、広島県商工会連合会事務所内の環境改善を行う。 ○ 広島県商工会連合会 BCP を改善し、運用開始。 ○ 全職員に対して「職員携行カード」の携行を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県商工会連合会 BCP の全体概要を見直し、風水害、地震、火災と感染症における対応策を区別した。 ○ また、災害時に想定される優先業務を洗い出し、各課でBCP 発動時に悩まずに行動できる業務タイムラインを示した。 ○ 「職員携行カード」は新入職員に対して配布を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発災時の被害を減少できるように、広島県商工会連合会事務所内の環境改善を行う。 ○ 広島県商工会連合会 BCP を改善し、運用開始。 ○ 全職員に対して「職員携行カード」の携行を促す。[継続]

【広島県農業協同組合中央会】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知 る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会員組合（13JA、連合会）に対して、会議や研修会等の機会を利用して、災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認などを周知する。 ○ 台風・大雨・大雪等の予報発生時に、災害情報の収集・共有化を図る体制を継続して構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 12月～1月大雪被害発生時、災害情報の早期収集のための調査実施。 ※調査を実施した結果、特段の対応は不要との判断。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会員組合（13JA、連合会）に対して、会議や研修会等の機会を利用して、災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認などを周知する。[継続] ○ 台風・大雨・大雪等の予報発生時に、災害情報の収集・共有化を図る体制を継続して構築する。[継続]
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県のHP等により、台風・大雨・大雪等各種の「災害対策本部」の設置状況・災害情報に注目し、必要な情報を収集し、周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県の取組状況を鑑みて、JAグループとしての対応を検討。 ※その結果、「JAグループ広島災害対策本部」の設置は不要との判断。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県のHP等により、台風・大雨・大雪等各種の「災害対策本部」の設置状況・災害情報に注目し、必要な情報を収集し、周知する。[継続]
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 入居するビルで実施する防災訓練等へ参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の訓練に参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 入居するビルで実施する防災訓練等へ参加。[継続]
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災の意識づけにかかる研修等の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 未実施。開催予定の会議にて周知予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災の意識づけにかかる研修等の実施。[継続]

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ マイ・タイムラインの活用促進。 ○ 防災グッズの在庫管理（使用期限等の確認含む）・備置（マスクなど）。 ○ 会員組合（13JA、連合会）に対して、行政等との災害協定締結状況を把握し、JAにおける地域防災活動への支援に取り組む。また、他組合の取り組みについて共有を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ マイ・タイムラインのJA等での活用（職員向け周知または組合員向け広報誌等）に向けた周知を実施。 ○ マイ・タイムラインの中央会内職員への周知。 ○ 防災グッズにコロナ対策を意識した備品を備置。 ○ 災害協定締結状況調査実施済。調査結果について、開催予定の会議にて周知予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災グッズの在庫管理（使用期限等の確認含む）・備置（マスクなど）。[継続]

【広島県宅地建物取引業協会】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「不動産取引の機会を捉えた防災情報の周知」と「みんなで減災」県民総ぐるみ運動について、当協会が実施する研修会・講習会等で会員に周知徹底し、全会員の理解と履行協力を求める。 ○ 当協会ホームページに「防災WEB」のバナーを掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宅地建物取引士を対象とした法定講習会【年20回実施】において、県の担当職員から「自然災害と防災に関する説明義務」と題して、物件取引時の説明内容等について周知を行うとともに、「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」パンフレットの配布を行った。 ○ 広島県が作成した「防災タイムライン」の作成方法などを記載したチラシを、本部及び9支部へ据え置き、会員や来訪者へ周知を図った。（上期から継続） ○ 当協会ホームページに「広島県防災WEB」のバナーを継続して掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「不動産取引の機会を捉えた防災情報の周知」と「みんなで減災」県民総ぐるみ運動について、当協会が実施する研修会・講習会等で会員に周知徹底し、全会員の理解と履行協力を求める。[継続] ○ 当協会ホームページに「防災WEB」のバナーを掲載[継続]
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和4年11月2日の『みんなで減災』一斉地震防災訓練に参加することとし、同建物内で勤務している支部職員や広島宅建㈱の職員にも、参加を呼び掛ける。 ○ 広島東支部研修会（令和4年11月22日予定）において、広島県危機管理監みんなで減災推進課の長井氏を講師に「防災タイムライン」について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和4年11月2日『みんなで減災』一斉地震防災訓練に参加した。直前に呼びかけチラシを回覧し周知、地震発生時における安全行動について確認ができた。 ○ 11月22日東支部研修会において会員29名が「防災タイムライン」について受講した。防災にかかる意識向上と顧客対応の向上につながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 『みんなで減災』一斉地震防災訓練に参加することとし、同じ建物内で勤務している支部職員や広島宅建㈱の職員にも、参加を呼び掛ける。[継続]

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
備える	○ 『町内会・自治会等の加入促進に関する協力協定（広島市）』、『町内会等地域活動の促進、防災・減災等に関する包括連携協定（安芸郡府中町）』、『自治会・町内会の加入促進に関する協力協定（福山市・福山市自治会連合会）』、『包括連携に関する協定（安芸郡海田町）』を基に、引き続き、会員を通じて、減災につながる地域の結びつきの強化を行う。	○ 各協力協定に基づいて、会員を通じて「町内会・自治会等に関する情報提供を行うとともに、新規入居者へ自治会・町内会加入を働きかけ、減災に繋がる地域社会の実現に向けて継続的に取り組んでいる。	○ 『町内会・自治会等の加入促進に関する協力協定（広島市）』、『町内会等地域活動の促進、防災・減災等に関する包括連携協定（安芸郡府中町）』、『自治会・町内会の加入促進に関する協力協定（福山市・福山市自治会連合会）』、『包括連携に関する協定（安芸郡海田町）』を基に、引き続き、会員を通じて、減災につながる地域の結びつきの強化を行う。[継続]

【全日本不動産協会広島県本部】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知る	○ 会報誌に、不動産取引等の際にハザードマップ等による災害危険箇所の周知活動などの啓発記事を掲載し、全会員へ向けて取組を促進 ○ 県担当者を講師に招いての、会員に対する、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の取組の周知 ○ 協会ホームページのトップページに、防災に関する行政機関のホームページのバナーを掲載	○ 会報誌に、防災タイムラインについて記事を掲載し会員へ向けて周知を行った。 ○ 宅地建物取引士を対象とした法定講習会【下半期2回実施のうち1回実施済（令和4年12月7日、令和5年3月8日）※令和4年度からeラーニング形式で利用する動画視聴の講習へ切替】において、「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」パンフレットの配布を行った。 ○ 継続して掲載中。	○ 会報誌に、不動産取引等の際にハザードマップ等による災害危険箇所の周知活動などの啓発記事を掲載し、全会員へ向けて取組を促進[継続] ○ 宅地建物取引士を対象とした法定講習会時に「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」パンフレットの配布等を行い、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の取組を周知 ○ 協会ホームページのトップページに、防災に関する行政機関のホームページのバナーを掲載[継続]
備える	○ 広島市・福山市と締結した「町内会・自治会等の加入促進に関する協力協定書」に基づき、入居世帯への町内会・自治会加入の働きかけに協力するよう会員に周知 ○ 広島県と締結した「大規模災害時における民間賃貸住宅の媒介等に関する協定書」に基づき、災害が起こった際に迅速に対応できるよう当協会独自のマニュアルを作成	○ 町内会加入促進のポスターを事務所に掲示。チラシを会報誌とともに会員全員に送付。 ○ 独自のマニュアルを事務局内に保管。	○ 広島市・福山市と締結した「町内会・自治会等の加入促進に関する協力協定書」に基づき、入居世帯への町内会・自治会加入の働きかけに協力するよう会員に周知[継続] ○ 広島県と締結した「大規模災害時における民間賃貸住宅の媒介等に関する協定書」に基づき、災害が起こった際に迅速に対応できるよう当協会独自のマニュアルを作成[継続]

【株式会社NTTドコモ中国支社】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台風・大雨・大雪等の災害対応時に避難所開設情報や市町村の災害対策本部設置状況を共通ビューワやリエゾン派遣により情報収集を行う。 ○ 防災機関との連携強化による情報収集を行う。 (各種防災会議等への出席) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台風11号・14号の対応時に避難所開設情報や市町村の災害対策本部設置状況をLアラートにより情報収集を行った。(9月) ○ 大雪に伴う各地の災害状況・被害状況について確認を行った。(12月、2月) ○ 防災機関との連携強化による情報収集を行った。(各種防災会議等への出席) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台風・大雨・大雪等の災害対応時に避難所開設情報や市町村の災害対策本部設置状況を共通ビューワやリエゾン派遣により情報収集を行う。[継続] ○ 防災機関との連携強化による情報収集を行う。(各種防災会議等への出席) [継続]
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各自治体の防災訓練参加やドコモ防災ハンドブック配布施策により、緊急速報メール・災害用伝言板等の認知度向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各自治体の防災訓練、町内のイベントに参加し、ドコモの災害対策の取組、緊急速報メール・災害用伝言板等の認知度向上の取組を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各自治体の防災訓練に参加し、ドコモの災害に関する取り組みのパンフレットを配布することにより、緊急速報メール・災害用伝言板等の認知度向上を図る。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台風や大雪等の災害が予測される場合に迅速な対応ができるよう、社内各組織の災害対策リーダーに対する事前準備依頼と情報の展開を行う。 ○ ドコモの災害対策への取組を理解していただき、連携強化を図ることを目的とした社外(防災関係機関、報道等)説明会を実施する。 ○ 災害時における携帯電話の有効な活用方法の理解浸透を図るため、ドコモ防災ハンドブック配布施策を実施する。(9月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台風で災害が予測される場合に迅速な対応ができるよう、社内各組織の災害対策リーダーに対する事前準備依頼と情報の展開を行った。(9月) ○ 大雪災害が予測される場合に迅速な対応ができるよう、社内各組織の災害対策リーダーに対する事前準備依頼と情報の展開を実施。(12月、2月) ○ 社外向けにドコモの災害対策の取組に関する説明会および展示会を実施。 ○ 災害時における携帯電話の有効な活用方法の理解浸透を図るため、ドコモ防災ハンドブック配布施策を実施した。(8月-9月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台風や大雪等の災害が予測される場合に迅速な対応ができるよう、社内各組織の災害対策リーダーに対する事前準備依頼と情報の展開を行う。[継続] ○ ドコモの災害対策への取組を理解していただき、連携強化を図ることを目的とした社外(防災関係機関、報道等)説明会を実施する。[継続] ○ 災害時における携帯電話の有効な活用方法の理解浸透を図るため、ドコモ防災ハンドブック配布施策を実施する。[継続]
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 従業員を対象としたシェイクアウト訓練による「緊急速報メール」を受信した場合の行動確認と「社員安否確認」を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全社員を対象とした安否確認訓練を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 従業員を対象としたシェイクアウト訓練による「緊急速報メール」を受信した場合の行動確認と「社員安否確認」を実施する。[継続]

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
	○ 全従業員対象の災害対策に関する Web 研修を実施する。	○ 全社員を対象とし、社員一人一人の自助力向上を目的とした web 研修を毎月実施。(4月-3月 12回)	○ 全従業員対象の災害対策に関する Web 研修を実施する。[継続] ○ 県域拠点に向けた災害対策業務の勉強会を実施する。
備える	○ 災害対策について自治体と連携強化を図るため、有事の際に提供できる優先電話貸出等や、自治体をお願いしたいことについて、自治体向けパンフレットで説明する。 ○ 災害発生時に連携する防災関係機関（陸上自衛隊、海上保安庁等）との訓練を実施する。	○ 災害対策について自治体と連携強化を図るため、有事の際に提供できる優先電話貸出等や、自治体をお願いしたいことについて、自治体向けパンフレットで説明(12自治体) ○ 災害発生時に連携する防災関係機関（陸上自衛隊、海上保安庁等）との災害対策機器運搬の訓練を実施。	○ 災害対策について自治体と連携強化を図るため、有事の際に提供できる優先電話貸出等や、自治体をお願いしたいことについて、自治体向けパンフレットで説明する。[継続] ○ 災害発生時に連携する防災関係機関（陸上自衛隊、海上保安庁等）との訓練を実施する。[継続]

【KDDI 株式会社中国総支社】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知る	○ 中国地区の防災情報を広く入手できるよう、「中国の防災に関するポータルサイト/中国地方整備局」の、社員向け HP へのリンクの張り付け [継続] ○ 地域の BCP マニュアルの更新・開示継続 [継続]	○ 2/10 BCP マニュアルの更新	○ 中国地区の防災情報を広く入手できるよう、社員向け HP に「中国の防災に関するポータルサイト/中国地方整備局」をリンク付け [継続] ○ 中国地区の BCP マニュアルの更新・開示継続 [継続]
察知する	○ 全社規模で、毎月初日の安否確認メールにより、非常時における社員との連絡体制に漏れがないか確認を実施 [継続] ○ 地域主導で、社員状況を確認する安否確認訓練実施(上半期 1 回、下半期 1 回) [継続] ○ 「中国の防災に関するポータルサイト/中国地方整備局」からの、各自治体 HP の情報を収集 [継続]	○ 継続中 (毎月 1 日実施) ○ 8 月、2 月全社安否確認訓練 ○ 9/14 台風 14 号の接近にともない、情報収集	○ 全社規模で、毎月初日の安否確認メールにより、非常時における社員との連絡体制に漏れがないか確認を実施 [継続] ○ 地域主導で、社員状況を確認する安否確認訓練実施(上半期 1 回、下半期 1 回) [継続] ○ 「中国の防災に関するポータルサイト/中国地方整備局」からの、各自治体 HP の情報を収集 [継続]

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発災時、勤務者等の安否確認や通信サービス継続、被災地支援等を規定に基づき実施 [継続] ○ 自治体の総合防災訓練に参加 当社の防災への取組や被災地での通信環境を整備するための機器や避難所支援装備の展示により、一般市民への防災意識向上に努める。[継続] ○ シルバー層向けのスマホ教室での災害対策サービス紹介を実施。[継続] ○ 九州四国総支社との合同訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続実施中 ○ 5/23 安佐南区防災フェス参加 11/3 南区安心・安全なまちづくりフェス 参加 ○ 継続実施中 ○ 1/14 重要メンバー対象の参集訓練とBCP勉強会(国泰寺自社ビルへの重要メンバー参集) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発災時、勤務者等の安否確認や通信サービス継続、被災地支援等を規定に基づき実施 [継続] ○ 自治体の総合防災訓練に参加 当社の防災への取組や被災地での通信環境を整備するための機器や避難所支援装備の展示により、一般市民への防災意識向上に努める。[継続] ◎5月 安佐南区防災フェス ○ シルバー層向けのスマホ教室での災害対策サービス紹介を実施。[継続] ○ 中国総支社において、緊急時参集訓練を開催予定 [継続] ◎九州四国総支社と、南海トラフを想定した連携訓練
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害用伝言板体験サービス」を毎月1日と15日に提供し、お客様に体験いただく。 ○ 社員はEラーニングにより災害対策マップの活用方法を学習 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続実施中 ○ 社員のEラーニングは停止し、7/29, 8/1 新年度所属長の勉強会を実施済 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害用伝言板体験サービス」を毎月1日と15日に開催。[継続] ○ 避難所支援備品の設置手順の確認 ◎ 災害時通信サービスの社内勉強会
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害担当には、全国の地震発生情報が自動的に発信され、発災後の行動に備えている。[継続] ○ 各県の総合防災訓練に参加 [継続] ○ 陸上自衛隊、海上保安庁等の関係機関と連携し、実践を意識した訓練を継続して実施 [継続] ○ 引き続き、災害発生時の通信環境を維持するために装備の充実に努め、災害対策備蓄品の点検及び入れ替えや被災地支援機器の点検、動作確認を実施。[継続] ○ ビル管理会社と連携した避難訓練を実施 [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続実施中 ○ 9/4 岡山県防災訓練にも参加 ○ 12/13 第八管区海上保安庁と巡視艇積載訓練(於: 浜田市) 2/13 陸上自衛隊とトラック/ヘリ積載訓練 ○ 継続実施中 ○ 対象テナントのみ実施済 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害担当には、全国の地震発生情報が自動的に発信され、発災後の行動に備えている。[継続] ○ 各県の総合防災訓練に参加 [継続] ○ 陸上自衛隊、海上保安庁等の関係機関と連携し、実践を意識した訓練を継続して実施 [継続] ○ 引き続き、災害発生時の通信環境を維持するために装備の充実に努め、災害対策備蓄品の点検及び入れ替えや被災地支援機器の点検、動作確認を実施。[継続]

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
	○ 災害掲示板(社内用)を充実させ、各本部の災害対応などの情報一元化を実施 [継続]	○ 継続実施中	

【ソフトバンク株式会社】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害時初動マニュアル(自社作成)」の内容確認、および社員が保持する業務用携帯電話への保存、事前確認の推進(全社通達) ○ 各拠点の火災発生時フロー、急病人発生時フロー、避難経路図、備蓄品情報を集約掲載した、社内専用ポータルサイト(通称:全国防火・防災ポータルサイト)の開設の運営に継続 ○ 大規模災害、テロ、パンデミック等の有事に備えた情報共有ポータルサイトの開設 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害時初動マニュアル(自社作成)」の内容確認、および社員が保持する業務用携帯電話への保存、事前確認の推進(全社通達) ○ 各拠点の火災発生時フロー、急病人発生時フロー、避難経路図、備蓄品情報を集約掲載した、社内専用ポータルサイト(通称:全国防火・防災ポータルサイト)の開設の運営に継続 ○ 大規模災害、テロ、パンデミック等の有事に備えた情報共有ポータルサイトの開設 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害時初動マニュアル(自社作成)」の内容確認、および社員が保持する業務用携帯電話への保存、事前確認の推進(全社通達) [継続] ○ 各拠点の火災発生時フロー、急病人発生時フロー、避難経路図、備蓄品情報を集約掲載した、社内専用ポータルサイト(通称:全国防火・防災ポータルサイト)の開設の運営に継続 [継続] ○ 大規模災害、テロ、パンデミック等の有事に備えた情報共有ポータルサイトの開設 [継続]
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 携帯電話販売店に「防災情報メール」説明用チラシを配置し、携帯電話の更新・新規購入者への登録を促進 ○ 携帯電話販売店等に配置している「モバイル総合カタログ」の中に、災害伝言板/音声お届けサービス、緊急速報メールの説明を掲載し、携帯電話の新規購入者・更新者への登録を促進 ○ 自社ホームページに災害伝言板/音声お届けサービス、緊急速報メールの機能説明等の掲載・周知 ○ 社内専用ポータルサイト(全国防火・防災ポータルサイト)に防災関連アプリを紹介して、登録を促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 携帯電話販売店に「防災情報メール」説明用チラシを配置し、携帯電話の更新・新規購入者への登録を促進 ○ 携帯電話販売店等に配置している「モバイル総合カタログ」の中に、災害伝言板/音声お届けサービス、緊急速報メールの説明を掲載し、携帯電話の新規購入者・更新者への登録を促進 ○ 自社ホームページに災害伝言板/音声お届けサービス、緊急速報メールの機能説明等の掲載・周知 ○ 社内専用ポータルサイト(全国防火・防災ポータルサイト)に防災関連アプリを紹介して、登録を促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 携帯電話販売店に「防災情報メール」説明用チラシを配置し、携帯電話の更新・新規購入者への登録を促進 [継続] ○ 携帯電話販売店等に配置している「モバイル総合カタログ」の中に、災害伝言板/音声お届けサービス、緊急速報メールの説明を掲載し、携帯電話の新規購入者・更新者への登録を促進 [継続] ○ 自社ホームページに災害伝言板/音声お届けサービス、緊急速報メールの機能説明等の掲載・周知 [継続] ○ 社内専用ポータルサイト(全国防火・防災ポータルサイト)に防災関連アプリを紹介して、登録を促進 [継続]
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害時初動マニュアル(自社作成)」の内容確認、および社員が保持する業務用携帯電話への保存、事前確認の推進(全社通達) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害時初動マニュアル(自社作成)」の内容確認、および社員が保持する業務用携帯電話への保存、事前確認の推進(全社通達) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害時初動マニュアル(自社作成)」の内容確認、および社員が保持する業務用携帯電話への保存、事前確認の推進(全社通達) [継続]

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
	○ 社内専用ポータルサイト（全国防火・防災ポータルサイト）に防災関連アプリを紹介して、登録を促進	○ 社内専用ポータルサイト（全国防火・防災ポータルサイト）に防災関連アプリを紹介して、登録を促進	○ 社内専用ポータルサイト（全国防火・防災ポータルサイト）に防災関連アプリを紹介して、登録を促進[継続]
学ぶ	○ 「安否確認訓練」を実施し、安否登録方法を全社員が体験 ○ 自社で作成した「災害時初動マニュアル」の内容について、全社員に対しeラーニングの受講を促進（全社通達） ○ ホームページ等において、災害用伝言板サービスなどの連絡手段を周知 ○ 全国の自治体主催防災訓練において、緊急速報メールの配信、災害用伝言板サービス、災害用音声お届けサービスの利用方法を周知 ○ ホームページ等において、緊急速報メールが、どのような時（地震、避難勧告等）に発信され、発信される情報内容（どのような行動をとればよいのかなど）や、どのように届くか（情報の種類による着信音の違い等）などを周知	○ 「安否確認訓練」を実施し、安否登録方法を全社員が体験 ○ 自社で作成した「災害時初動マニュアル」の内容について、全社員に対しeラーニングの受講を促進（全社通達） ○ ホームページ等において、災害用伝言板サービスなどの連絡手段を周知 ○ 全国の自治体主催防災訓練において、緊急速報メールの配信、災害用伝言板サービス、災害用音声お届けサービスの利用方法を周知 ○ ホームページ等において、緊急速報メールが、どのような時（地震、避難勧告等）に発信され、発信される情報内容（どのような行動をとればよいのかなど）や、どのように届くか（情報の種類による着信音の違い等）などを周知	○ 「安否確認訓練」を実施し、安否登録方法を全社員が体験[継続] ○ 自社で作成した「災害時初動マニュアル」の内容について、全社員に対しeラーニングの受講を促進（全社通達）[継続] ○ ホームページ等において、災害用伝言板サービスなどの連絡手段を周知[継続] ○ 全国の自治体主催防災訓練において、緊急速報メールの配信、災害用伝言板サービス、災害用音声お届けサービスの利用方法を周知[継続] ○ ホームページ等において、緊急速報メールが、どのような時（地震、避難勧告等）に発信され、発信される情報内容（どのような行動をとればよいのかなど）や、どのように届くか（情報の種類による着信音の違い等）などを周知[継続]
備える	○ 施設内の設備の転倒防止対策や避難経路の確保 ○ 各事業者の防火・防災体制の把握	○ 施設内の設備の転倒防止対策や避難経路の確保 ○ 各事業者の防火・防災体制の把握	○ 施設内の設備の転倒防止対策や避難経路の確保[継続] ○ 各事業者の防火・防災体制の把握[継続] ○ 各事業所内での防災備蓄品の配備

【広島県バス協会】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知る	○ バスの車内に災害危険箇所、避難場所、避難経路等の確認を促す啓発を実施 ○ バスの車内に防災に関する啓発ポスター等を掲示（ポスター等の提供があれば）	○ バスの車内に災害危険箇所、避難場所、避難経路等の確認を促す啓発を実施した。 ○ バスの車内に防災に関する啓発ポスター等を掲示する。	○ バスの車内に防災に関する啓発ポスター等を掲示する。（ポスター等の提供があれば）[継続] ○ バス路線沿線の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認する。[継続]

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、防災情報メール、広島県防災 Web などにて情報収集し、バス路線沿線の危険性を察知できるよう会員に対して、防災情報メールの登録を呼びかける。 ○ 必要な時に必要な情報が早期に収集できるように、災害情報の入手先（ホームページ、電話番号等）を常に最新にしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、防災情報メール、広島県防災 Web などにて情報収集し、バス路線沿線の危険性を察知できるよう会員に対して、防災情報メールの登録を呼びかけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、防災情報メール、広島県防災 Web などにて情報収集し、バス路線沿線の危険性を察知できるよう会員に対して、防災情報メールの登録を呼びかける。[継続] ○ 必要な時に必要な情報が早期に収集できるように、災害情報の入手先（ホームページ、電話番号等）を会員用ポータルサイトに掲載する。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県が開催する一斉防災訓練への参加を会員に促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「広島県『みんなで減災』一斉地震防災訓練」への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県が開催する一斉防災訓練へ参加する。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他機関に依頼し、防災教室を実施する。 ○ 「ひろしまバスまつり」において、広島県へブース提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島気象台にご協力頂き、「防災気象情報とその利用」というテーマでセミナーを開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他機関に依頼し、防災教室を実施する。[継続] ○ 「ひろしまバスまつり」において、広島県へブース提供（2023.11.5実施予定）
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会員に対し「広島県『みんなで減災』一斉地震防災訓練」など事務局が実施するイベント・講座などへの参加を促す。 ○ 会員に対し、ひろしまマイ・タイムラインの作成を促す。 ○ 会員に対し、BCPの策定を促す。 ○ 防災マニュアルの策定・更新を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会員に対し「広島県『みんなで減災』一斉地震防災訓練」への参加を促した。[継続] ○ 会員に対し、ひろしまマイ・タイムラインの作成を促した。[継続] ○ 未実施の会員に対し、BCPの策定を促した。[継続] ○ 会員に対し、防災マニュアルの策定・更新を促した。[継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会員に対し「広島県『みんなで減災』一斉地震防災訓練」など事務局が実施するイベント・講座などへの参加を促す。[継続] ○ 会員に対し、ひろしまマイ・タイムラインの作成を促す。[継続] ○ 会員に対し、BCPの策定を促す。[継続] ○ 防災マニュアルの策定・更新を促す。

【広島県医師会】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 減災に係るポスター等の掲示について、広島県や市郡地区医師会と連携し、掲示が促進されるよう方策の検討や取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ポスターやリーフレットを館内に掲示している。 ○ ポスターやリーフレットを市郡地区医師会へ送付し、掲示などによる周知を促進している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 減災に係るポスター等の掲示について、広島県や市郡地区医師会と連携し、掲示が促進されるよう方策の検討や取組の実施[継続]
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「広島県医師会速報」による、会員へ向けた防災意識・手順・サービス等の定期的な啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県防災情報メール通知サービスに関する記事を会員向け広報誌に掲載した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「広島県医師会速報」による、会員へ向けた防災意識・手順・サービス等の定期的な啓発[継続]

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種研修会や訓練などの実施を通じて、関係機関との連携を強化し、さまざまな医療面での対応方を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県健康福祉局の担当課と今後の災害対策と連携について打合せを重ねている。 ○ 広島県と協力し、県内医療機関一斉「EMIS（広域災害救急医療情報システム）緊急時入力訓練」（11/1～11/10）を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種研修会や訓練などの実施を通じて、関係機関との連携を強化し、さまざまな医療面での対応方を共有する。[継続] ○ 広島県と協力し、EMIS（広域災害救急医療情報システム）入力に関する訓練を計画・実施。[継続]
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時における市区郡地区医師会との密接な連絡・連携のため、緊急時連絡先を整備する。 ○ 太田川水防災タイムライン・小瀬川水防災タイムラインのハザード別の各ステージにおける災害対応を迅速に進めるため情報を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時に速やかに適切な医療を提供する支援体制の見直し、マニュアル等の作成を行っている。 ○ 太田川水防災タイムライン検討会に参画 ○ 小瀬川水防災タイムライン検討会に参画 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害対応の現状を整理し、体制整備・見直し。具体的な対応マニュアルの作成。 ○ 太田川水防災タイムライン・小瀬川水防災タイムラインのハザード別の各ステージにおける災害対応を迅速に進めるため情報を共有する。[継続]

【広島県歯科医師会】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「会員のための災害時ハンドブック」を利用して、研修や会議等の際に、“広島県防災 Web”により災害時への準備や対応について啓発を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内郡市地区で行う所管研修会の中で、時間は限られているが、「ハンドブック」を活用する中で災害に対する啓発活動を行った。 ○ 本歯科医師会の会報誌に、「防災・減災のちから一備えあれば憂いなしー」と題した文章を毎月掲載し、会員に情報提供を行った(9月～3月)。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「会員のための災害時ハンドブック」を利用して、研修や会議等の際に、“広島県防災 Web”により災害時への準備や対応について啓発を図る。[継続] ○ 引き続き本歯科医師会の会報誌に、「防災・減災のちから一備えあれば憂いなしー」と題した文章を毎月掲載し、会員に情報提供を行っていく。[継続]
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日頃からの注意喚起の発信はもちろん、実際に災害が起こった際、会員の安否確認をスマホやパソコンからも簡単に回答ができるよう「グーグル フォーム」を現在メーリングシステムに代わるものとして検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会員の安否確認システムの見直しについて、「グーグルフォーム」を含めて検討した。また、歯科関連団体等へ会員の安否確認手段のヒアリングを行い今後の参考とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日頃からの注意喚起の発信はもちろん、実際に災害が起こった際、会員の安否確認をスマホやパソコンからも簡単に回答ができるよう「グーグル フォーム」を現在メーリングシステムに代わるものとして検討していく。[継続]

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年度に構築した郡市区歯科医師会との連絡網について、独自の災害対応訓練などにより実効性を高めていく。 ○ 日本歯科医師会「災害歯科保健医療体制研修会」の内容について、発災時に具体的に利活用していけるよう、会員の研修を計画的に実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内郡市区で行う所管研修会の中で、時間は限られているが、「ハンドブック」を活用する中で災害に対する啓発活動を行った。（「知る」と同様） ○ 日本歯科医師会の研修会の内容を発災時に利活用する会員向け研修会「災害歯科保健医療体制研修会」を実施した（11月）。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年度に構築した郡市区歯科医師会との連絡網について、独自の災害対応訓練などにより実効性を高めていく。[継続] ○ 日本歯科医師会「災害歯科保健医療体制研修会」の内容について、発災時に具体的に利活用していけるよう、会員の研修を計画的に実施していく。[継続]
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本歯科医師会「災害歯科保健医療体制研修会」で学んだことを、会員はもとより、歯科衛生士・歯科技工士にも伝達していくことを検討中。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本歯科医師会の研修会の内容を発災時に利活用する会員向け研修会を、歯科衛生士会、歯科技工士会の会員参加を得て実施できた。（「行動する」同様） ○ 広島県や広島市、広島歯学部等との連携組織である広島県歯科衛生連絡会での「災害歯科保健医療体制・整備検討会議」を開催し、連携強化を協議した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本歯科医師会「災害歯科保健医療体制研修会」で学んだことを、会員はもとより、歯科衛生士・歯科技工士にも伝達していく研修会を継続実施していく。 ○ 広島県や広島市、広島歯学部等との連携組織である広島県歯科衛生連絡会での「災害歯科保健医療体制・整備検討会議」での連携強化を継続していく。
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 備蓄の消費期限等考慮し、継続的に見直しをしていく。 ○ 安否確認システムの構築。 ※「察知する」取り組み内容。 ○ 協定を交わした中国・四国地区8県（広島県を除く）との災害対応訓練の実施を検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他県の歯科医師会の備蓄状況（備蓄品、備蓄数等）を参考に、必要数量を検討した。 ○ 日本歯科医師会や行政の計画を参考に、本会の「事業継続計画（BCP）」（案）を策定した。上記「災害歯科保健医療体制・整備検討会議」の中で、その実効性等を協議した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「備蓄」の消費期限等考慮し継続的に見直しをしていく。 ○ 安否確認システムの構築。 ※「察知する」取り組み内容。 ○ 本歯科医師会全体計画として策定した「事業継続計画（BCP）」（案）の内容検証を行い、規定化するとともに、会員への周知活動を検討・実施していく。 ○ 協定を交わした中国・四国地区8県の歯科医師会とは、中国四国地区歯科医師会災害歯科保健担当者グループメールを作成したので情報共有を行う、下半期に行う広島国税局管内税務指導者協議会の際に災害対応訓練の実施を検討することなどにより、連携強化していく。

【日本放送協会広島放送局】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 節目をとらえて西日本豪雨災害の教訓をくみとる報道を続ける。5年前の土砂災害とあわせ地域の減災・防災を呼び掛け続ける。 ○ 新たな豪雨、台風、地震などの災害には臨時特設のニュースで身を守ってもらうための情報提供に取り組む。 ○ 訪日外国人の増加を踏まえ、L字放送などで外国人向け放送への誘導を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島放送局の小野文恵アナウンサーが広島県内を散策しながら、先人の防災の知恵や防災に関する知識を知ってもらう「防災さんぽ」を夕方のニュース番組、お好みワイド広島で11回にわたってシリーズで放送。 ○ 食べ物のアレルギー対策や快適性の向上などが進む避難所の現状を紹介する「変わる避難所」シリーズをお好みワイドひろしまで6回に渡って放送したほか、県内の主要な6つの河川の特徴や危険箇所を紹介するシリーズも5回放送。いずれのシリーズもNHK広島のホームページに動画を掲載し、周知に努めている。 ○ 台風14号など災害の危険が迫っている際には、機動的に特設ニュースを放送したほか、24時間体制でニュースを出し、常時文字情報（L字放送）も継続。 ○ 子どもから大人まで幅広く、防災について学び備えることができる「防災ポケット手帳」の配布。 ○ NHK広島のホームページに「みんなで防災はじめの一步」のバナーを掲載。マイタイムラインへの誘導を図る取り組みを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夕方18時10分からのローカルニュース番組「お好みワイドひろしま」などで、防災意識を高めてもらうニュースを継続して発信。 ○ 台風や大雨、地震などの災害時には、通常のニュース番組に加えて、夜間や早朝にかかわらず適宜特設ニュースを編成して早めの避難を呼びかける放送を実施。 ○ NHK広島のホームページで、「防災さんぽ」や県内の主要河川の危険箇所などを分かりやすく伝える「かわしり」、「変わる避難所」などのレポート動画を常時掲載し、防災意識を高めてもらう取り組みを継続。 ○ 子どもから大人まで幅広く防災について学び備えることができる「防災ポケット手帳」を適宜配布して、防災意識を高めてもらう。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ スマートフォン向けの『NHKニュース防災アプリ』の普及に努め、視聴者、県民のみなさんの災害察知力に貢献する。[継続] ○ 避難を呼びかける「避難特設ニュース」※をさらに進化させる取組。[継続] ※ 行政機関のHPを活用した記者解説やデータ放送、インターネット、アプリなどを通じて視聴者にご自分で周囲の様子を調べてもらう試みなど。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ L字放送などを通じて、スマートフォン向けの『NHKニュース防災アプリ』の普及に努めた。 ○ 災害時には適宜特設ニュースとともにL字放送を実施するとともに、WEBやツイッターなどでも避難に関する情報などを発信し、早めの避難を呼びかけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ L字放送などを通じて、雨雲の状況や土砂災害の危険度などが分かるスマートフォン向けの『NHKニュース防災アプリ』の普及に努める。 ○ 災害時には適宜特設ニュースとともにL字放送を実施するほか、WEBやツイッターなどでも避難に関する情報などを発信し、早めの避難を呼びかける。

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
行動する ・ 学ぶ ・ 備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 西日本豪雨災害報道の教訓を共有する取り組みを実施。 ○ ライフライン放送やL字放送の訓練の実施。 ○ 定期的に地震に備えた訓練を行う。 ○ 広島放送局のホームページに「暮らしと安全」を常時開設、防災・減災に役立つ知識や情報を提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 週に一回程度、地震などの災害時を想定した緊急送出訓練を実施。 ○ NHK広島放送局のHPの中の「暮らしと安全」のコーナーに、広島県の「みんなで防災」はじめの一歩のリンクを掲載。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 週に一回程度、地震などの災害時を想定した緊急送出訓練を実施。 ○ NHK広島放送局のHPの中の「暮らしと安全」のコーナーに、広島県の「みんなで防災」はじめの一歩のリンクを掲載。

【株式会社中国放送】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知る 察知する 行動する 学ぶ 備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害報道、防災情報に力を入れ、スタッフ研修、番組制作などに継続して取り組む。 ○ 報道機関として、行政の災害対応、防災施策に問題はないかも含めて、しっかりと取材・報道する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 西日本豪雨等に関連した継続的な防災報道に加え、大雨時などに地上波特別枠を設けたり、Web配信したりして情報発信した。 ・4～7月、気象・災害情報について理解を深める活動（放送・Web）。▽新たな線状降水帯予測情報、▽災害危険度分布色分け変更、▽氾濫危険情報の3時間前予測、▽広島市の警報を区ごとに発表などについて企画ニュースを通じ解説。 ・5月、坂町災害伝承ホールなど被災地の取り組みや「避難行動」県アンケート結果を伝える。 ・6月、ハザードマップの盲点について報道。 ・7・6西日本豪雨から4年めぐる報道。前日に当時の振り返り企画3本をWeb配信。 ・大雨情報 広島市に土砂災害警戒情報・避難指示 7月8日（金）18:26～19:00、20:39～23:45L字情報、18:15～19:00レギュラー番組内展開。 ・7月、三次の大水害から50年、過去の災害に学ぶ報道。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 報道機関として、行政の災害対応、防災施策に問題はないかも含めて、しっかりと取材・報道する ○ 災害報道、防災情報に力を入れ、スタッフ研修、番組制作などに継続して取り組む ○ 「みんなで減災」県民総ぐるみ運動に賛同し、あらゆる機会をとらえて、防災に関する発信を行う。 ○ 県などが主催する防災訓練を積極的に取材し、県民へ向けて発信する。 ○ きめ細かい独自の天気予報を伝えるとともに、平常時・災害時とも情報発信は、ラジオ・テレビ・インターネットホームページなど様々なメディアによって行う。

<p>知 る</p> <p>察知 する</p> <p>行動 する</p> <p>学 ぶ</p> <p>備える</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 8 月、東北・北陸の大雨で出なかった線状降水帯発生予測をめぐる報道。 ・ 8・20 広島土砂災害と線状降水帯について企画。直前に 8 年前当時のドキュメンタリーを放送。 ・ 台風 11 号情報 9 月 6 日（火）5：55～9：11L 字情報。朝ミニ枠 3 回。ほか定時ニュース、レギュラー番組枠内。 ・ 台風 14 号情報 9 月 17 日（土）16：30～17：30 番組内、9 月 18 日（日）午後 6 時過ぎ～19 日（月）19 時 L 時情報、18 日深夜～朝ミニ枠 4 回、特枠 18 日 13：54～14：26、19 日 10：50～11：30、14：40～15：22、15：50～レギュラー番組枠内。 ・ 9 月、被爆直後に広島を襲った枕崎台風の被害について報道。 ・ 4～9 月、被災地の復興や防災の取り組みを継続的に報道。 ・ 12 月警報級の大雪に関する情報について、事前から番組の時間枠を割り、気象予報士の解説を交えながら、雪対策に留意するよう警鐘を鳴らした。 ・ 12 月～1 月大雪関連の取材対応。県北に取材班を数日間置き、雪に対する対応状況や、積雪による危険を現地的心声を交えながら伝える。また L 字の字幕も対応しながら、交通情報など、各地の状況を文字でも伝えた。 ・ 1 月、福山市のみろくの里での地震を想定した消防と連携した形の災害救助訓練を伝える。 	
--	--	--	--

<p>知 る</p> <p>察知 する</p> <p>行動 する</p> <p>学 ぶ</p> <p>備える</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 2月、トルコでの大地震に救助活動で入った団体の声を届けながら、現地の状況を伝え、地震時に起こりうる事象を明らかにする報道。 ・ 10月～2月、被災地の復興や防災の取り組みを継続的に報道。 ○ 新たに JNN 系列でスタートした「TBS NEWS DIG Powered by JNN」の防災アプリとしての活用。 ○ ウェザーセンター（気象予報士4人）による気象情報全般の発信力強化。 ・ 日常的に気象への関心を高める取り組み（放送・Web）。 ・ 中国地方整備局河川カメラ網の活用。増水時以外も映像に触れる機会を増やす取り組み。 ○ Yahoo! 防災マップとのパートナーシップ連携。放送等での活用。 ○ ラジオとも連携、視聴者・聴取者から寄せられる情報も共有した。 ○ JNN 系列を挙げての災害対応策にかかる継続的協議・訓練。 ・ 定期的に会議を行う事で、出水期に向けて変更される情報の伝え方を確認。防災担当者間の日常的な意見交換、会議の実施。各種研修等への参加。災害報道訓練。 ○ 自社での地震報道訓練等の実施。 ○ 関係機関と連携した防災催し・勉強会。 ・ 気象予報士を中心に積極的に参加。 	
--	--	---	--

【株式会社テレビ新広島】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県の防災の取組に関する情報や、防災に関する様々な情報を、日頃のニュースや「満点ママ」の月1防災企画などで提供 ○ 行政機関や広大等研究機関が取り組む、豪雨災害時の避難行動の在り方の検証について、広く周知できるよう対応 ○ 災害の危険度を5段階に分けた危険度情報について番組内で解説し、早めの避難行動を促す 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自宅周辺の危険な箇所を確認 ○ 避難先を考える上での注意点（避難所・親戚や友人の家など） ○ 家族で離れてしまった時の待ち合わせ場所を決める上での注意点 ○ 警戒レベルの確認 ○ 気象情報や注意報の見方 ○ 朝の情報番組「満点ママ」内で月1の防災企画を通じてタイムリーな防災・減災情報の発信に努めた。 ○ 気象情報の発表形式が変更されたり、県民の生活に大きな影響を与える大雨・大雪の時期を捉え、ニュース内の企画・特集コーナーで視聴者へ防災・減災情報の啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県の防災の取組に関する様々な情報などを、日頃のニュースや「満点ママ」の月1防災企画などで提供する。[継続] ○ 広島県内各市町と「災害情報発信協定」を締結し、平時よりニュースや番組等を通じて、災害への備えを伝えるとともに「避難の重要性」を訴える。[継続] ○ 警戒レベル3「高齢者等避難」発令時に速報スーパー対応するなど、早期避難に繋がる取組みを行う。[継続]
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 注意報・警報などの情報をテレビの字幕で周知 ○ 災害情報等をテレビの字幕放送（L字放送等）で周知 ○ 災害時には、本放送だけでなく、データ放送やホームページ等を活用し、きめ細やかな情報を迅速に提供 ○ 正確な情報を早くわかりやすく、テレビ、ホームページを通じ、繰り返し伝達 ○ テレビ番組で県防災 Web による土砂災害危険度情報の確認方法を啓発 ○ 大雨洪水警報や避難勧告などが出た場合、自局ホームページなどによる情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難タイミングの考え方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島県防災 Web やヤフー防災タイムラインの活用 ・ 警戒レベルの確認、現在の気象状況を詳しく伝えることで避難行動の呼びかけ 【台風11号・放送対応】 9/6(火)06:06 めざまし内台風情報、 6:12~11:06 L字放送 【台風14号・放送対応】 9/18(日) 21:54-台風情報 24:23-S-PARK 内で台風情報 9/19(月)06:06-めざまし内台風情報 15:45-16:50 特番台風14号最新情報 9/18(日)18:00~ 9/19(月)19:15 L字放送 ○ クリスマス・1月の大寒波では、中国地方整備局提供の国道カメラ映像を用い、県内各地の積雪の様子などを伝えたり、大雪警報など気象情報を 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県及び県内各市町と「災害に係る情報発信等に関する協定」締結を進める。（広島県及び15市町と締結済み。5市町と協定書取り交わし済み。）[継続] ○ 注意報・警報などの情報をテレビの字幕で周知 ○ 災害情報等をテレビの字幕放送（L字放送等）で周知 [継続] ○ 災害時には本放送だけでなく、データ放送やホームページ等を活用し、きめ細やかな情報を迅速に提供 [継続] ○ 正確な情報を早くわかりやすく、テレビ・ホームページを通じて、繰り返し伝達する。[継続] ○ テレビ番組で県防災 Web による土砂災害危険度情報の確認方法を啓発する ○ 大雨洪水警報や避難情報などが出た場合、自局ホームページなどで情報提供する。

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
		発表と同時にいち早く伝え、県民への防災・減災情報の発信に努めた。 ○ L字放送やSNSなどを駆使し、県内の交通情報や気象情報などを利用者にいち早く伝え、警戒・注意喚起とした。 ○ 寒波襲来の際には、レギュラー枠以外に気象ニュース枠を臨時に作り、情報発信に努めた。	
行動する	○ マイ・タイムラインの製作や避難経路の確認など、避難グッズの用意など、継続して、防災・減災を意識した啓蒙活動を行う。	○ 防災アプリの活用や満点ママオリジナルカードを活用することで避難のタイミングや分散避難を考え行動するきっかけ作り ○ 早めに避難するためにはどうしたらいいか ○ 減災のために私たちが普段できる取り組み ○ ニュース内で実際にマイ・タイムラインの作り方などを紹介し、それらを通じて県民の防災・減災への意識を高め、情報発信、啓発に努めた。	○ 日頃から、より防災・減災を意識したテレビ番組内の情報露出の強化〔継続〕 ○ 災害に備え具体的にどう行動するのかを意識してもらうための啓発〔継続〕
学 ぶ	○ 通常のニュースに加え、特集などで災害の原因に迫るとともに、土砂災害警戒区域の指定や被災者支援などを検証 ○ 報道を通じ、県民に防災・減災について考えてもらう素材を提供 ○ 自局のホームページで、防災・減災の知識や情報を提供 ○ 気象警報について広島市が8行政区ごとの詳細発表になり、より地域の実情に合った防災情報発信に切り替わった事案など、減災につながる最新の防災情報などについては、機会をとらえ、ニュースなどの企画・特集などを通じて分かり易く県民へ周知・啓発を図る	○ ヤフー防災タイムラインの作り方 ○ 今年変更&追加された気象情報の確認（線状降水帯予測情報やキキクルの色表示の変更など） ○ プラスチックが気候に与える影響について（広島への影響についても） ○ 熱中症対策（対処の仕方・日常でできる予防法も） ○ ニュース内で、阪神大震災の発生日など機会、節目を捉えて、特集コーナーを作り、視聴者に改めて防災・減災について考え、身の安全を守る術を身につけてもらい意識を高めてもらう事を目指した。	○ 通常のニュースに加え、特集などで災害の原因に迫るとともに、土砂災害警戒区域の指定や被災者支援などを検証 ○ 報道を通じて、県民に防災・減災について考えてもらう素材・機会を提供 ○ 自局のホームページで、防災・減災の知識や情報を提供 ○ 減災につながる最新の防災情報などについては、機会をとらえ、ニュースなどの企画・特集などを通じて分かり易く県民へ周知・啓発を図る

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自局のホームページで、防災・減災に関する情報を提供 ○ 気象情報や県市町等から発せられる警戒レベルや避難所情報を的確に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 梅雨入り前の備え ○ ハザードマップの確認 ○ 避難先・避難経路の確認 ○ 非常用持ち出し袋の中身の確認 ○ 防災絵本を活用して家族で防災について話すきっかけ作りを ○ 避難情報発令に備え、局内での情報発信訓練や地上波のカットイン訓練を定期的に行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自局のホームページで、防災・減災に関する情報を提供 [継続] ○ 気象情報や県市町等から発せられる警戒レベルや避難所情報を的確に伝える。 [継続]

【広島テレビ放送株式会社】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュースで土砂災害特集を放送 ○ 梅雨・台風シーズン及び大雪について番組内の天気コーナーやニュースで注意喚起 ○ 「みんなで防災プロジェクト」コーナーを放送 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いま動こう！みんなで防災 PROJECT」を週1で放送。 <ul style="list-style-type: none"> ・台風14号の被害考察 ・キッズ防災士 ・外国人向け防災教室 ・マンションの在宅避難 ・広島駅周辺の3Dモデル化など ○ 防災プロジェクトHP内に県内の水害碑地図とそれぞれの碑の映像をアップ。 ○ 3月11日16時30分放送「どう逃げる？災害から命を守るために」 <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時に命を守るためにどう逃げるのかを塚原気象予報士が伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュースにおいて、土砂災害の特集を放送。 [継続] ○ 梅雨・台風シーズン及び大雪・寒波について番組内の天気コーナーやニュース内で注意喚起 [継続] ○ 「みんなで防災プロジェクト」コーナーを週に一度放送し県民の防災意識を高める。 [継続]
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨や大雪などで警報及び避難情報が出た場合、ニュースやL字放送で情報を伝達 ○ 警報等出た場合、「速報」で避難情報を伝達 ○ ホームページやデータ放送にニュースで放送した警報情報などを掲載 ○ 広テレアプリにより、スマホへのプッシュ通知による避難情報などの提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨や大雪などで警報および避難情報が出た場合、ニュースやL字放送で情報発信。 [継続] ○ ホームページやデータ放送にニュースで放送した警報情報を掲載。 [継続] ○ 広テレアプリでスマホへのプッシュ通知による避難情報などの提供。 [継続]

行動目標	取組内容	令和4年度の実施状況	令和5年度の実施予定
行動する	○ ニュースや速報、L字を使って気象情報や避難情報を放送し早めの行動を呼びかけた。	○ 「いま動こう！みんなで防災PROJECT」を週1で放送。 ・避難所運営のIT化 ・ICTを活用した地域防災 ・被災地学生の避難マップなど	○ ニュースや速報、L字を使って気象情報や避難情報を放送し早めの行動を呼びかけ。[継続]
学ぶ	○ 放送を通じて、防災についての意識を高めてもらう。	○ 6月4日(土) 「森から防災教室 in 尾長」 ・親子50人に尾長山に集ってもらい、森が防災に果たす役割について気象予報士が解説。 ・その後木の伐採体験やクラフト体験を通じ長期的な目線での防災について学んだ。 ○ 6月24日(金) 18:55～1時間 ・「学校では教えてくれないみんなの防災教室2」を放送。前線による大雨や台風のメカニズムのほか広島土砂災害被災地の被災体験を継承する取り組みなどを学ぶ番組とした。 ○ 11月6日(日) 「いま動こう！みんなで防災フェス2022」開催。今年は「避難」をテーマにステージを展開。数千人が来場	○ 放送を通じて、防災についての意識を高めてもらう。[継続]
備える	○ 放送を通じて、防災についての意識を高めてもらう。	○ 「いま動こう！みんなで防災PROJECT」を週1で放送。 ・水で膨らむ土嚢 ・キッチンカーの炊き出し協力 ・長周期地震動を地震速報になど	○ 放送を通じて、防災についての意識を高めてもらう。[継続]

【株式会社広島ホームテレビ】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュース番組で広島県防災WEBの活用（土砂災害危険度情報のチェックの仕方など）を啓発 ○ ニュース番組で、「防災」（豪雨災害、南海トラフ地震への備えなど）をテーマにした放送必要時は自社インターネット配信と合わせて警戒を呼び掛けることができる態勢づくりを進める。 ○ 大雨警戒時にL字放送を実施し、注意や避難を呼びかけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6・29 豪雨災害や西日本豪雨災害の周年直前から、警報レベルの変更など企画放送。さらに自社HPで公開し、周知徹底を図った。 ○ 大雨被害や台風時には、24時間体制でL字放送を実施。警戒を呼び掛けた。 ○ 年末の大雪被害の時には、通勤通学時間に合わせてL字放送を実施。警戒を呼び掛けた。 ○ 行政や企業などの防災協定について取材し、放送した。 ○ 過去の災害地に赴き、防災対策を取材。放送に結び付けた。 ○ データ放送で気象状況を伝えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュース番組で広島県防災WEBの活用（土砂災害危険度情報のチェックの仕方など）を啓発[継続] ○ ニュース番組で、「防災」（豪雨災害、南海トラフ地震への備えなど）をテーマにした放送必要時は自社インターネット配信と合わせて警戒を呼び掛けることができる態勢づくりを進める[継続] ○ 大雨警戒時にL字放送を実施し、注意や避難を呼びかける。[継続] ○ テレビのデータ放送（dボタン）を使い自治体の情報を見ることができる新しいサービスの運用 [新規]
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自社ホームページのトップページに、広島県防災WEBへのリンクバナーを掲載 ○ 自社ホームページに「広島防災」ページ開設（「広島防災」HPについては、引き続き防災情報を追加し充実を図る。） ○ 「広島防災」HPについては、引き続き防災情報を追加し充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自社HP上に「広島防災」といったページを開設。過去に放送した防災VTRやその時々気象情報を伝えている。広島県防災WEBのリンクも貼り、より詳しい県内気象情報の発信に努めた。 ○ データ放送で気象情報を常に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自社ホームページのトップページに、広島県防災WEBへのリンクバナーを掲載 [継続] ○ 自社ホームページに「広島防災」ページ開設（「広島防災」HPについては、引き続き防災情報を追加し充実を図る。） [継続]
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨洪水警報や避難勧告などが出た場合、自社ホームページやSNS（ツイッター、フェイスブック）の自社アカウントから情報を発信 ○ 警報など随時ニュース速報で対応 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 9月の台風11号及び14号では、24時間体制で対応。L字のほか動画配信でその都度啓発VTRを配信。 ○ 年末の大雪の時には24時間体制で対応。L字のほか動画配信でその都度啓発VTRを配信。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨洪水警報や避難勧告などが出た場合、自社ホームページやSNS（ツイッター、フェイスブック）の自社アカウントから情報を発信 [継続] ○ 警報など随時ニュース速報で対応 [継続]

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地上波放送及びネット配信で特別番組を編成し、現状や予報を発信する。 ○ 自社ホームページのトップページに、広島県防災WEBへのリンクバナーを掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自社気象予報士や契約した気象会社と情報交換しながら、特別番組を放送。災害現場の状況や、気象予報士による解説を随時放送した。 ○ L字情報をホームページとリンクさせ、情報を多チャンネルで発信していった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地上波放送及びネット配信で特別番組を編成し、現状や予報を発信する。 ○ 自社ホームページのトップページに、広島県防災WEBへのリンクバナーを掲載[継続]
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュース番組等で、広島県防災Webなどのチェックを促し、L字放送などで早めの避難を呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6月からの線状降水帯予測の時には、夕方番組内でメカニズムなどを考え、実際予報が起きた時にどのような行動が必要かなどを伝えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災関連の自社制作番組を小中学校の授業で活用してもらう[継続] ○ ニュース番組で、防災に関する必要な知識や情報を紹介[継続]
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュース番組で、防災に関する必要な知識や情報を紹介 ○ 防災関連の自社制作番組を小中学校の授業で活用してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨シーズン直前に「広島防災」キャンペーンを行い、気象や避難など多角的な企画VTRを放送。HP上でもアップし幅広い人に周知した。 ○ 9月の台風接近時には、最接近前に特別番組を放送し、注意喚起を行った。 ○ 大雪や低気温に対応した「広島防災」キャンペーンを行い、気象や避難など多角的な企画VTRを放送。HP上でもアップし幅広い人に周知した。 ○ 昼休みを利用して、地震発生マスターカット訓練を平日毎日行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュース番組等で、広島県防災Webなどのチェックを促し、L字放送などで早めの避難を呼びかける[継続] ○ 「広島防災」HPについては、引き続き防災情報を追加し充実を図る。[継続]

【株式会社中国新聞社】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社員を対象に「安全を考える集い」を開催。さまざまな専門家に話を聞き、まずは自らを、さらには家族を守る意識を確実に醸成していく。それを還元していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 22年9月14日に、社内の大会議室で「安全を考える集い」を実施した。社員や関連会社の社員計約150人が参加（WEB含む）。講師は、日本赤十字社広島県支部の小田原弘周事業推進課長と西本登勢救急法講師。過去の災害を被災者の証言を基に追体験し、災害でどんなことが起きるのかを創造する力を養う「災害エスノグラフィー」という手法を学んだ。また、実際に役立つ応急手当の方法についても実戦形式で学んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社員を対象に「安全を考える集い」を開催。さまざまな専門家に話を聞き、まずは自らを、さらには家族を守る意識を確実に醸成していく。それを還元していく。[継続]

行動目標	取組内容	令和4年度取組状況	令和5年度取組予定
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 「安全を考える集い」の講演を社のホームページにアップし、見るように呼び掛けている。 	
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年の広島市との防災情報の提供に関する協定締結以降、実施している、防災行政無線の内容を、ケーブルテレビ回線を通じて宅内に設置する専用の受信機で確認できるサービスの継続実施。 ○ 「中国新聞メルマガ（旧名ちゅーピーメルマガ）」を随時改良を重ねながら、読者に対し、より詳しい地震や大雨などに関する災害情報、それに伴う交通、ライフライン情報を発信し、素早い非難を促す。 ○ 災害情報は、中国新聞の電子紙面「中国新聞デジタル」でも避難情報や地震の情報などを速報する。 ○ 小学生の学びに役立つウェブサイト「ちゅーピー子どもウェブ」(22年4月スタート)に、新聞で連載中の防災特集や、西日本豪雨など過去の災害の記事などを分かりやすく掲載。防災教育の教材として役立ててもらおう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年の広島市との防災情報の提供に関する協定締結以降、実施している、防災行政無線の内容を、ケーブルテレビ回線を通じて宅内に設置する専用の受信機で確認できるサービスを継続して実施している。 ○ 「ちゅーピーメルマガ」や、デジタルでニュースを発信する「中国新聞デジタル」を随時改良し、読者に対し、地震や大雨などのより詳しい災害情報、それに伴う交通、ライフライン情報を発信し、素早い避難を促している。 ○ 災害情報は、中国新聞の電子版「中国新聞デジタル」で随時、避難情報や地震の情報などを速報している。 ○ 小中学生の学びに役立つサイトは、「ぶんタッチ」としてスタートした。現在、内容の充実を進めており、学校の調べ学習に寄与したい。 ○ 防災情報を伝えるメールを改良。中身を開かなくてもタイトルだけで警戒情報のどの段階にあるかを分かるようにし、利便性を高めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年の広島市との防災情報の提供に関する協定締結以降、実施している、防災行政無線の内容を、ケーブルテレビ回線を通じて宅内に設置する専用の受信機で確認できるサービスの継続実施。 ○ 「中国新聞メルマガ（旧名ちゅーピーメルマガ）」を随時改良を重ねながら、読者に対し、より詳しい地震や大雨などに関する災害情報、それに伴う交通、ライフライン情報を発信し、素早い非難を促す。 ○ 災害情報は、中国新聞の電子紙面「中国新聞デジタル」でも避難情報や地震の情報などを速報する。 ○ 小学生の学びに役立つウェブサイト「ちゅーピー子どもウェブ」(22年4月スタート)に、新聞で連載中の防災特集や、西日本豪雨など過去の災害の記事などを分かりやすく掲載。防災教育の教材として役立ててもらおう。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今回の西日本豪雨災害報道では、これまでの災害も踏まえ、「どう命や地域を守るのか」を最重点に報道し、命を守る行動に結びつくよう、提言も含め、住民意識に訴えていきたいと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島土砂災害から8年、西日本豪雨から4年のタイミングをとらえ、それぞれの発生日に合わせて、ワイド特集や連載などを幅広く展開。当時の関係者を再取材し、被災後の自主防災組織の取り組みや、心の問題、地域再生の課題などを多角的な視点で報道し、防災意識を高めてもらうよう努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 西日本豪雨災害報道では、これまでの災害も踏まえ、「どう命や地域を守るのか」を最重点に報道し、命を守る行動に結びつくよう、提言も含め、住民意識に訴えていきたいと考えている。

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
学ぶ	○ 防災上の問題点を紙面を通じてニュースや連載特集などで示し、住民への啓発の一助につなげたいと考えている。災害時の心構えや過去の教訓についても報道し、安全安心について、さまざまなテーマを掘り下げていきたい。	○ 21年9月から毎月1回、朝刊に「防災 命を守るために」という特集ページを新設した。毎月第2水曜日に、高齢者にも分かりやすいグラフィックスで、災害が起きるメカニズムなどを解説。ハザードマップの見方などを紹介している。	○ 防災上の問題点を紙面を通じてニュースや連載特集などで示し、住民への啓発の一助につなげたい。災害時の心構えや過去の教訓についても報道し、安全安心について、さまざまなテーマを掘り下げていきたい。
備える	○ 社内の主要拠点において行っている災害時に必要な備蓄について、定期的に状況を管理しながら、随時積み増ししている。	○ 21春、中国新聞の記者でチャットルーム「防災記者ネット」をつくった。報道センターの気象・災害を担当する記者が、中国地方整備局や気象庁などの勉強会、記者会見などで得た情報や資料をアップし、共有している。支社局の記者、デスク、管理職を含め30人が登録し、いざという時に備えている。	○ 社内の主要拠点において行っている災害時に必要な備蓄について、定期的に状況を管理しながら、随時積み増ししている。

【広島エフエム放送株式会社】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知る	○ 「みんなで減災」推進大使が各生放送番組に出演して周知 ○ 「みんなで減災」推進大使として、各種イベントへ出演。ステージイベントやブースにおいて、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動を周知 ○ 県が開催する一斉地震防災訓練（シェイクアウト）の周知、参加呼びかけ	○ 継続的に実施 ○ 3/5（日）「備えるフェア」実施中、横川カジルモールにてトークショーを実施 ○ 10月に実施した。	○ 「みんなで減災」推進大使が各生放送番組に出演して周知 ○ 「みんなで減災」推進大使として、各種イベントへ出演。ステージイベントやブースにおいて、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動を周知
察知する	○ 大雨や台風接近時などには、気象情報・避難情報を特に詳しく番組を通じて周知 ○ 避難情報が発表された際には、コンパクトに正しく伝える工夫を検討 ○ 番組内での「防災情報メール」登録の呼びかけ	○ 台風11号、14号の接近時には、平日のワイド番組で特に詳しく実施した。 ○ 避難指示が、県内で最初に出た際には詳細に伝え、その後は、市町名に絞ってつたえるようにした。 ○ 「防災情報メール」ではなく「Yahoo!防災速報」登録の呼びかけに重点を置いた。	○ 大雨や台風接近時などには、気象情報・避難情報を特に詳しく番組を通じて周知 ○ 大使の番組出演時に、「Yahoo!防災速報」アプリ登録の呼びかけ

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県が開催する一斉防災訓練「シェイクアウト」に従業員が参加 その後、机の下に身を守るスペースの確保 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全社での「シェイクアウト」訓練の実施は見送ったが、社内での周知を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発災時の安否確認方法、緊急時マニュアルの確認 ○ 大使の番組出演時に、県が開催する一斉地震防災訓練（シェイクアウト）や県内の防災訓練の周知、参加呼びかけ
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 有識者との情報交換を定期的に実施 ○ 新たなスタッフ、番組出演者へ、「災害時の対応」について研修を実施 ○ 県内で行われている防災教室、防災訓練の周知（「防災ワークショップ」の実施） ○ HFM 防災ハンドブック 2022 の制作、配布 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続的に実施している。 ○ 4月のタイミングで新番組担当者に対して実施した。 ○ 8/27、CLiP HIROSHIMAにて、避難MAPを作るワークショップを実施。 ○ 3/5（日）「備えるフェア」実施中、横川カジルモールにてトークショーに大使参加。 ○ 今年度も7月に発行した。また、午後のワイド番組では週に1回、「防災Q」と題して、ハンドブックの中からクイズを出題している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 有識者との情報交換を定期的に実施 ○ 新たなスタッフ、番組出演者へ、「災害時の対応」について研修を実施 ○ HFM 防災ハンドブック 2023 の制作、配布、配布に合わせた番組内企画展開実施 ○ 防災ハンドブックを活用したワークショップやイベント、学校への出前授業等の実施
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大使の番組出演時に県の「備えるフェア」の周知 ○ 梅雨や台風シーズンは、番組を通して、注意喚起 ○ 過去の災害発生日に合わせて、番組等で再度取り上げ、注意喚起 (7月1週目や9月初旬には特集企画を実施予定) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 9月、3月に実施した。 ○ 梅雨時期、台風シーズン、過去の災害発生日周辺では、防災ハンドブックの告知とあわせて、番組内での注意喚起を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大使の番組出演時に県の「備えるフェア」の周知 ○ 梅雨や台風シーズンは、番組を通して、注意喚起 ○ 過去の災害発生日に合わせて、番組等で再度取り上げ、注意喚起(7月1週目や9月初旬には特集企画を実施予定)

【広島地方気象台】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知 る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「防災気象情報の伝え方に関する検討会等を受けた取組」を受け、令和4年度出水期中の情報改善に関する取組について、地域住民に避難判断の参考として活用してもらうため、自治体、報道機関等を通じた周知広報を行う。 ○ 令和3年度に引き続き大雨特別警報の位置づけ・役割の周知徹底を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出水期前までに自治体、報道機関を通じて、段階的に発表される防災気象情報の利活用方法について積極的な周知広報を実施した。 ○ 防災気象情報の利活用方法とあわせて、出水期前までに自治体、報道機関を通じて、大雨特別警報に関して積極的な周知広報を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和5年度中に実施予定の各種防災情報の情報改善に関する取組について、地域住民に避難判断の参考として活用してもらうため、自治体、報道機関等を通じた周知広報を行う。 ○ 各種キキクル（危険度分布）を地域住民に避難判断の参考として活用してもらうため、自治体、報道機関等を通じた周知広報を行う。

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和4年10月～11月にかけて、自治体、報道機関と「令和4年度出水期の振返り」を実施した。 また、報道機関には適宜、機会を捉えて各種防災気象情報の改善に関する情報を地域住民の皆さま方に提供していただいている。 	
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民が防災気象情報を受ける第一の手段はテレビ・ラジオと想定されることから、報道機関との懇談会を実施し、気象台が発表する防災気象情報について周知広報を行う。 ○ 避難行動の判断材料となる防災気象情報の意味と、とるべき行動、及び情報の入手手段等について、住民に対する周知広報を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 報道機関等が参加する防災気象連絡会や報道機関との懇談会を通じて、防災気象情報の周知広報を行った。 ○ 防災気象情報に関するYoutube解説資料を定期的に作成し、自治体防災担当者へ共有し防災業務への支援を行った。 ○ 令和4年10月～11月にかけて、報道機関と「令和4年度出水期の振返り」を実施し、防災気象情報に関する周知広報も実施した。 ○ みんなで減災推進課が主催している防災授業でのゲストティーチャーや部外講演等の機会を捉えて、生徒・児童を含めた一般住民向けの防災情報に関する周知広報を適宜実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民が防災気象情報を受ける第一の手段はテレビ・ラジオと想定されることから、報道機関との懇談会を実施し、気象台が発表する防災気象情報について周知広報を行う。[継続] ○ 避難行動の判断材料となる防災気象情報の意味と、とるべき行動、及び情報の入手手段等について、住民に対する周知広報を行う。[継続]
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民への情報が的確に行われるよう、気象台と県・市町の緊密な情報交換を通じ、連携強化を図る。 ○ 大規模地震を想定した訓練を実施し、安全確保行動の確認や職場の体制確認を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨警報等が発表される時は、県・市町に対してホットラインによる事前連絡を行った。また、平時においても、県に対して朝夕に気象解説を行い、県から市町へ情報を共有してもらうなど連携をとっている。 ○ 南海トラフ地震を想定して訓練を実施し、職員の安否確認や機器障害時等の対応確認を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民への情報が的確に行われるよう、気象台と県・市町の緊密な情報交換を通じ、連携強化を図る。[継続] ○ 大規模地震を想定した訓練を実施し、安全確保行動の確認や職場の体制確認を行う。[継続]

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和4年10月～11月にかけ、自治体と「令和4年度出水期の振返り」を実施し、緊密な情報交換を行い、お互いの連携強化を図った。 ○ 令和4年11月2日の「みんなで減災」一斉地震防災訓練に参加し、大規模地震を想定した職員の安全確保行動訓練を行い、プラスワン訓練として職場の備蓄物資の確認を行った。 	
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企業・団体、防災関係機関が開催する研修、訓練、講演会等での、防災気象情報に関連する研修、後援等の依頼には可能な限り対応し、職員を派遣の上、防災気象情報の普及啓発を図る。 ○ 地方公共団体防災担当者向けの気象防災ワークショップを関係機関と連携して実施する。 ○ 気象庁ワークショップ「経験したことの無い大雨 そのときどうする？」について、関係機関と連携して実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年度までに引き続き、コロナ禍で各種団体が開催する研修の中止が多かったが、TV会議形式や十分な新型コロナウイルス感染拡大防止策が図られていると判断できる場合は、依頼された研修に関しては積極的に対応した。 ○ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、地方公共団体から気象防災ワークショップの開催依頼はなかった。今後はTV会議形式や十分な感染拡大防止策が図られていると判断できる場合は対面による開催について、積極的に実施するように取り組んでいく。 ○ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催は見送ったが、今後はTV会議形式や十分な感染拡大防止策が図られていると判断できる場合は対面による開催について、積極的に実施するように取り組んでいく。 ○ 国の機関、消防等の防災関係機関及び予報士会等と連携して、防災気象情報に関連する研修、後援等の依頼に対応し、職員を派遣して防災気象情報の普及啓発を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企業・団体、防災関係機関が開催する研修、訓練、講演会等での、防災気象情報に関連する研修、後援等の依頼には可能な限り対応し、職員を派遣の上、防災気象情報の普及啓発を図る。[継続] ○ 地方公共団体防災担当者向けの気象防災ワークショップを関係機関と連携して実施する。[継続] ○ 気象庁ワークショップ「経験したことの無い大雨 そのときどうする？」について、関係機関と連携して実施する。[継続]
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災支援の取組の強化を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 機会を捉えて、防災及び報道機関との地域防災支援の取組を継続的に実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災支援の取組の強化を行う。[継続]

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
	<ul style="list-style-type: none"> ○ JETT（気象庁防災対応支援チーム）の体制強化や市町等の関係機関と共同での「振り返り」実施等の取組を一層推進する。 ○ 地域の実情に応じたきめの細かい気象解説ができるように「あなたの町の予報官」の取り組みを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和4年度出水期中は、県庁に職員を複数回 JETT（気象庁防災対応支援チーム）派遣した。出水期後に県との振り返りを実施した。 ○ 首長訪問時に「あなたの町の予報官」の取組について市町への説明を行った。また、「台風第14号による大雨」をとりまとめた報道発表資料や気象庁のあらたな取組等のお知らせをメール送付し周知の徹底を行った。 ○ 自治体、報道機関との振り返りや部外講演等の機会を捉えて、「あなたの町の予報官」との顔の見える関係の構築に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ JETT（気象庁防災対応支援チーム）の体制強化や市町等の関係機関と共同での「振り返り」実施等の取組を一層推進する。[継続] ○ 地域の実情に応じたきめの細かい気象解説ができるように「あなたの町の予報官」の取り組みを実施する。[継続]

【中国地方整備局】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路施設等に海拔情報を表示し、避難時の目安となる情報を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続実施中 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路施設等に海拔情報を表示し、避難時の目安となる情報を提供する。[継続]
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中国地方整備局 WEB サイト等において、以下の防災情報を提供 <ul style="list-style-type: none"> 【全般】 防災体制情報、TEC-FORCE 活動状況 【河川】 川の防災情報（洪水予報、水防警報、ダム放流通知）、浸水想定区域図、水文水質データベース、NHK データ放送での配信 ・ 水害リスクラインによる一般への水位情報提供 ・ 切迫感やリアリティーのある河川状況を伝えるため、簡易型河川監視用カメラや YouTube を活用した河川監視カメラの映像配信。 ・ 設置した危機管理型水位計により越水危険箇所の水位情報を公開し住民の主体的な避難 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 取組を継続中 <ul style="list-style-type: none"> ・ 左記の取組を継続。 ・ 左記の取組を継続。 ・ 左記の取組を継続。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中国地方整備局 WEB サイト等において、以下の防災情報を提供 <ul style="list-style-type: none"> 【全般】 防災体制情報、TEC-FORCE 活動状況 【河川】 川の防災情報（洪水予報、水防警報、ダム放流通知）、浸水想定区域図、水文水質データベース、NHK データ放送での配信 ・ 水害リスクラインによる一般への水位情報提供 ・ 切迫感やリアリティーのある河川状況を伝えるため、簡易型河川監視用カメラや YouTube を活用した河川監視カメラの映像配信。 ・ 設置した危機管理型水位計により越水危険箇所の水位情報を公開し住民の主体的な

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
察知する	<p>を促進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年7月豪雨で土砂災害により甚大な被災を受けた9地区において、早期避難などに役立てていただくための溪流監視カメラ画像の一般公開。 ・情報発信の強化のため、ツイッター等のSNS公式アカウントを通じた災害情報の提供（試行）。 <p>【道路】道路情報提供（交通規制、道路気象情報）、事前通行規制区間情報、冬季道路情報（道路ライブ画像、通行止め予定区間）</p> <p>【港湾】ナウファス（全国港湾海洋波浪情報網）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 携帯電話事業者が提供する緊急速報メールサービスを活用した洪水情報のプッシュ型配信を広島県内全域で実施 ○ 平成30年7月豪雨で土石流被害を受けた地区において、設置したワイヤーセンサーによる警戒 ○ 各放送局への河川カメラ映像の提供。 ○ 特別警報発表時など生活に影響を及ぼすような災害が発生するおそれがある場合に、円滑な避難や被害の防止・軽減に資するため、気象台との合同記者会見を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の取組を継続。 令和3年8月の大雨による被災箇所についても左記の取組を実施 ・左記の取組を継続。 ・左記の取組を継続。 ・左記の取組を継続。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を継続。 ○ 完成施設箇所については撤去済み <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年8月の大雨による被災箇所についても左記の取組を実施 ○ 左記の取組を継続。 ○ 12/21、1/23に大雪に関する緊急発表に伴う合同記者会見を広島地方気象台と実施。 	<p>避難を促進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年7月豪雨及び令和3年8月大雨で土砂災害により甚大な被災を受けた地区において、早期避難などに役立てていただくための溪流監視カメラ画像の一般公開 ・情報発信の強化のため、ツイッター等のSNS公式アカウントを通じた災害情報の提供（試行）。 <p>【道路】道路情報提供（交通規制、道路気象情報）、事前通行規制区間情報、冬季道路情報（道路ライブ画像、通行止め予定区間）</p> <p>【港湾】ナウファス（全国港湾海洋波浪情報網）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 携帯電話事業者が提供する緊急速報メールサービスを活用した洪水情報のプッシュ型配信を広島県内全域で実施。 ○ 令和3年8月大雨箇所による被災箇所についてワイヤーセンサーによる警戒を実施。 ○ 各放送局への河川カメラ映像の提供。 ○ 特別警報発表時など生活に影響を及ぼすような災害が発生するおそれがある場合に、円滑な避難や被害の防止・軽減に資するため、気象台との合同記者会見を実施。

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「中国地方の防災に関する連絡会」における情報共有・伝達訓練 ○ 要配慮者利用施設について避難確保計画作成のため、「講習会の企画調整及び運営マニュアル」を提供し、避難対応の推進を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 11/29 関係機関が参加する大規模災害連携訓練（図上訓練）を開催。 ○ 左記の取組を継続。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「中国地方の防災に関する連絡会」における情報共有・伝達訓練 ○ 要配慮者利用施設について避難確保計画作成のため、「講習会の企画調整及び運営マニュアル」を提供し、避難対応の推進を支援
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災教室, 防災訓練, 防災イベント等（広島市を中心に展開予定） ○ 防災教育の取組強化 <ul style="list-style-type: none"> ・教育現場と連携・協力し、防災教育の支援を実施（整備局が持っている災害時のリアルな写真や映像・データなどを提供、気象台・地理院とも連携した取組を実施） ○ マイ・タイムラインの普及 <ul style="list-style-type: none"> ・流域の小中学校、または自治会において、マイ・タイムライン出前講座を実施。マイ・タイムライン作成の過程でハザードマップを見てもらい、自分自身の災害に対する危険性を把握してもらう。 ○ 中国地方防災研究会及び（一社）中国建設弘済会との共催で、中国地方における地震、台風、豪雨など極端な気象に関する防災体制の整備強化と関係者の意識向上を目的に、中国地方防災研究会講演会を開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災イベントへ参加し、降雨体験機や災害対策車両の展示、国交省の取組み紹介等を2回実施。（広島市、三次市） ○ 令和4年度防災に関する出前講座を9回実施。（広島市、三次市、福山市） ○ 上記の出前講座の内、防災教育と合わせて2回実施。（広島市、三次市） ○ 中国地方防災研究会講演会について、7月4日に第1回（参加者約290名）、10月19日に第2回（参加者約150名）を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災教室, 防災訓練, 防災イベント等（広島市を中心に展開予定） ○ 防災教育の取組強化 <ul style="list-style-type: none"> ・教育現場と連携・協力し、防災教育の支援を実施（整備局が持っている災害時のリアルな写真や映像・データなどを提供、気象台・地理院とも連携した取組を実施） ○ マイ・タイムラインの普及 <ul style="list-style-type: none"> ・流域の小中学校、または自治会において、マイ・タイムライン出前講座を実施。マイ・タイムライン作成の過程でハザードマップを見てもらい、自分自身の災害に対する危険性を把握してもらう。 ○ 中国地方防災研究会及び（一社）中国建設弘済会との共催で、中国地方における地震、台風、豪雨など極端な気象に関する防災体制の整備強化と関係者の意識向上を目的に、中国地方防災研究会講演会を開催。

【広島県市長会（広島市）】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種広報媒体により災害に関する一般知識や備え等を広報する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島市 HP、市政出前講座、講演会・研修会等により、災害に関する一般知識や平素からの備えについて周知した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種広報媒体により災害に関する一般知識や備え等を広報する。〔継続〕

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難誘導アプリのダウンロード促進 ○ 広島市防災情報メールの登録促進 ○ その他の避難情報の入手方法の周知 (広島市防災ポータル、広島市公式LINE、広島市公式SNS、テレビ、気象庁HPなど) ○ 緊急速報メールの活用の周知 ○ 防災ライブカメラの設置補助 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島市HP、SNS、市政出前講座、講演会・研修会、小学校への案内、デジタルサイネージ及びポスター掲示等により周知し、災害の危険性を察知する手段を確保するための支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難誘導アプリのダウンロード促進〔継続〕 ○ 広島市防災情報メールの登録促進〔継続〕 ○ その他の避難情報の入手方法の周知〔継続〕 (広島市防災ポータル、広島市公式LINE、広島市公式SNS、テレビ、気象庁HPなど) ○ 緊急速報メールの活用の周知〔継続〕 ○ 防災ライブカメラの設置補助〔継続〕
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織による防災訓練に対する補助 ○ 地域独自の防災マップ「わがまち防災マップ」の作成支援 ○ 避難誘導アプリのダウンロード促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災訓練の実施に係る補助金を交付する制度により、自主防災組織が効果的な訓練を実施できるよう支援した。 ○ 地域の危険性を自ら確認し、災害に備えることのできる「わがまち防災マップ」の作成を支援した。 ○ 避難誘導アプリのダウンロード促進のために以下の普及啓発を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・普及啓発動画を本市の公式YouTube、Twitter、Facebookでの配信するとともに、マツダスタジアムや本通り交差点の大型モニターなどでも放映した。 ・公共施設やサービスエリア、市内の大学にチラシ・ポスターの配布、市立小学校、中学校、高校の児童・生徒へチラシを配布した。 ・イベントや研修会等で使い方と機能を紹介した。・イベントや研修会等で使い方と機能を紹介した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織による防災訓練に対する補助〔継続〕 ○ 地域独自の防災マップ「わがまち防災マップ」の作成支援〔継続〕 ○ 避難誘導アプリのダウンロード促進〔継続〕
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織による防災講演会や研修会等の開催に対する支援 ○ 講演会・研修会・市政出前講座の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災まちづくり事業により、防災講演会や研修会を開催するとともに、体験学習に対する支援（講師謝礼金、設備の借り上げ費用等）を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織による防災講演会や研修会等の開催に対する支援〔継続〕 ○ 講演会・研修会・市政出前講座の開催〔継続〕

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害を迫体験できる取組の推進 ○ こどもを対象とした防災体験学習の実施 ○ 普及啓発冊子「たちまち防災」を活用し、地域防災リーダーが研修を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「たちまち防災」を活用した研修を地域防災リーダーが実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「広島市豪雨災害伝承館」等を巡る被災地防災研修会の開催に対する支援 ○ 災害を迫体験できる取組の推進[継続] ○ 普及啓発冊子「たちまち防災」を活用し、地域防災リーダーが研修を実施する。[継続]
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災リーダーの養成事業の実施 ○ 企業や各種団体が開催する防災イベントと連携し、日頃からの備えを啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災士養成講座を2回（1回目：12/3、12/4 2回目：2/11、2/12）実施し、173名の地域防災リーダー（防災士）を養成した。 ○ 報道機関等が開催する防災イベントと連携し、避難誘導アプリのダウンロードや非常持ち出し品等の日頃からの備えを啓発した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災リーダーの養成事業の実施 ○ 企業や各種団体が開催する防災イベントと連携し、日頃からの備えを啓発 [継続]

【広島県町村会（坂町）】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「地震防災マップ」・「津波・高潮ハザードマップ」、「土砂災害ハザードマップ」の広報誌やHPでの周知、転入者等に配布し啓発を実施 ○ 土砂災害警戒区域の確認方法を広報誌や町HPで周知 ○ 広島県防災入カシステムを利用し、避難施設の設備状況、災害時における混雑状況等、情報提供の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「地震防災マップ」・「津波・高潮ハザードマップ」、「土砂災害ハザードマップ」の広報誌やHPでの周知、転入者等に配布し啓発を実施 [継続] ○ 土砂災害警戒区域の確認方法を広報誌や町HPで周知 [継続] ○ 広島県防災入カシステムを利用し、避難施設の設備状況、災害時における混雑状況等、情報提供の実施 [継続] ○ 「津波・高潮ハザードマップ」に、新たな一時避難場所を追加するとともに、発災時の避難行動や災害情報の入手方法等より分かりやすくし、住民の理解力の向上を図る。

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災行政無線等により災害情報を周知すると共に、町の自主避難先の開設情報や高台等への駐車場確保に関する情報を周知 ○ 町の登録制メールによる、災害情報や避難所等の開設情報の周知 ○ エリアメールによる、災害情報の周知（NTT ドコモ、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイル） ○ 戸別受信機の無償貸与を実施し、避難情報をより確実に伝達するほか、難聴世帯に対しては個別アンテナの設置 ○ 河川監視カメラの設置及び映像公開情報の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記取組を実施した。 ○ 7台目のカメラを設置した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災行政無線等により災害情報を周知すると共に、町の自主避難先の開設情報や高台等への駐車場確保に関する情報を周知〔継続〕 ○ 町の登録制メールによる、災害情報や避難所等の開設情報の周知〔継続〕 ○ エリアメールによる、災害情報の周知（NTT ドコモ、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイル）〔継続〕 ○ 戸別受信機の無償貸与を実施し、避難情報をより確実に伝達するほか、難聴世帯に対しては個別アンテナの設置〔継続〕 ○ 河川監視カメラの設置及び映像公開情報の周知〔継続〕
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難施設をいち早く開設する体制を庁内で整備 ○ 高齢者等避難を発令する前であっても、災害の危険性が考えられる場合、また夜間になる前に自主避難所を開設 ○ 消防団と協働し、町内全地域の災害に対応可能な体制を整備 ○ 消防団員への普通救命講習の実施 ○ 自主防災組織に対し「避難の呼びかけ体制づくり」の支援を実施 ○ 総合防災訓練を実施し、関係機関との連携協力体制を確立するとともに、地域住民の防災意識の高揚を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記取組を実施した。 ○ 10/23 規模を縮小して実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難施設をいち早く開設する体制を庁内で整備〔継続〕 ○ 高齢者等避難を発令する前であっても、災害の危険性が考えられる場合、また夜間になる前に自主避難所を開設〔継続〕 ○ 消防団と協働し、町内全地域の災害に対応可能な体制を整備〔継続〕 ○ 消防団員への普通救命講習の実施〔継続〕 ○ 自主防災組織に対し「避難の呼びかけ体制づくり」の支援を実施〔継続〕 ○ 消防団ポンプの更新による、消防能力の向上を図る。 ○ 民間社会福祉法人が整備する障害福祉サービス施設の一部を災害時の一次避難場所として利用するための整備を実施

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災リーダー養成講座開催 ○ 自主防災組織養成講座開催 ○ 地域の自主的な防災講座の支援 ○ 防災士養成講座受講者の募集 ○ 写真や映像を通じて災害や避難について学べる施設を整備し、災害の実態を後世に伝えていく 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災士養成講座受講者を募集 ○ 防災リーダー養成講座を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災リーダー養成講座開催[継続] ○ 自主防災組織養成講座開催[継続] ○ 地域の自主的な防災講座の支援[継続] ○ 防災士養成講座受講者の募集[継続] ○ 写真や映像を通じて災害や避難について学べる災害伝承ホールにより、災害の実態を後世に伝えていく。[継続] ○ 30年7月豪雨災害の被害状況や復旧・復興の取り組みを記録誌としてまとめ、被災から得た教訓を後世に継承し、町民の防災意識の更なる向上を目指す。
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難情報発令時に「非常持出品の携行」について防災行政無線等で周知 ○ 公共施設において非常持出品を展示し、準備を提唱 ○ 町広報誌等において、備蓄の呼びかけ ○ マイ・タイムラインの全戸配布 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記取組を実施した。 ○ 5月に水害用、8月に台風用を全戸配布して、備える意識の向上を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難情報発令時に「非常持出品の携行」について防災行政無線等で周知[継続] ○ 公共施設において非常持出品を展示し、準備を提唱[継続] ○ 町広報誌等において、備蓄の呼びかけ[継続] ○ マイ・タイムラインの全戸配布[継続]

【広島県教育委員会】

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
知 る	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハザードマップ等を活用し、災害危険箇所、避難場所、避難経路を確認。訓練実施後に避難場所・避難経路等の見直しを実施するよう指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6月の一斉防災教室実施後に、危機管理マニュアル等を見直すよう指導した。 ○ 11月の一斉地震防災訓練実施後に、危機管理マニュアル等を見直すよう指導した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハザードマップ等を活用し、災害危険箇所、避難場所、避難経路を確認。訓練実施後に避難場所・避難経路等の見直しを実施するよう指導[継続]

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ まち歩きや防災マップの作成による災害危険箇所等の確認 ○ 一斉防災訓練への参加や避難行動の確認 ○ 災害種別に対応した危機管理マニュアルの作成・見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6月の一斉防災教室実施後に、危機管理マニュアル等を見直すよう指導した。 ○ 6月の一斉防災教室への参加に係る通知を発出して、防災教育の充実を働きかけた。 ○ 11月の一斉地震防災訓練実施後に、危機管理マニュアル等を見直すよう指導した。 ○ 11月の一斉地震防災訓練参加に係る通知を発出して、防災教育の充実を働きかけた。 ○ 災害種別ごとの危機管理マニュアルに不備のある学校を個別に指導した。 ○ 地域防災計画の見直しによって、新たに要配慮者利用施設として位置付けられた公立学校に対して、関係法令等に基づいた対応をするよう、個別に指導した。 ○ 文部科学省調査「学校安全取組状況調査」の回答内容に基づき、法律に基づいた対応をするように指導した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ まち歩きや防災マップの作成による災害危険箇所等の確認[継続] ○ 一斉防災訓練への参加や避難行動の確認[継続] ○ 災害種別に対応した危機管理マニュアルの作成・見直し[継続]
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町内会、自主防災組織等、地域と連携した防災訓練の実施 ○ まち歩きや防災マップの作成による災害危険箇所等の確認 ○ 学校における防災教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・防災教育を推進するための教職員研修の実施 ・「ひろしまマイ・タイムライン」の活用事例を紹介 ・「防災教育の手引」を活用した「防災に関する授業」の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「防災週間」及び「津波防災の日」の周知の際、関係機関と連携をして、防災体制の整備に努めるよう指導した。 ○ 広島県学校保健研究協議大会において、「自分の命を自分で守る～地域や家族で考える事前の防災～」と題して、講師を招聘して、防災教育に係る講義を行い、各校の防災教育の充実を図るよう指導した。 ○ 学校における防災教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度学校安全指導者講習会において、各校の学校安全計画の見直しに資する学校安全に係る最新情報、「ひろしまマイ・タイムライン」を活用した取組及び「防災教育の手引」の内容を紹介し、各校の防災教育の取組の充実を図るよう指導した。 ・文部科学省調査「学校安全取組状況調査」の回答内容に基づき、各校の対応について個 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町内会、自主防災組織等、地域と連携した防災訓練の実施[継続] ○ まち歩きや防災マップの作成による災害危険箇所等の確認[継続] ○ 学校における防災教育の推進[継続] <ul style="list-style-type: none"> ・防災教育を推進するための教職員研修の実施 ・「ひろしまマイ・タイムライン」の活用事例を紹介 ・「防災教育の手引」を活用した「防災に関する授業」の推進

行動目標	取組内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組予定
	<p>○ ホットライン教育ひろしまで公民館職員に、公民館等で防災等をテーマにした学習講座を企画する際に活用できる情報を提供</p>	<p>別に指導した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度初任者研修において、「安全教育の進め方」に関する講義を行い、「防災教育の手引」に示した事例から、「ひろしまマイ・タイムライン」を活用した中学校の取組と紙上での活用した事例を紹介した。 ・ 各学校の防災教育の取組に不備がないように、学校安全取組状況調査を実施して、各市町教育委員会と連携して学校の取組状況を確認した。 <p>○ 防災講座用のパンフレットや映像、パネル等が活用できるよう関係リンク先HPを紹介した</p> <p>○ 防災講座用のパンフレットや映像、パネル等が活用できるよう関係リンク先HPを紹介した。</p>	<p>○ ホットライン教育ひろしまで公民館職員に、公民館等で防災等をテーマにした学習講座を企画する際に活用できる情報を提供[継続]</p>

【広島県】

行動目標	取組内容	令和4年度の実施状況	令和5年度の取組内容
<p>知 る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域、企業、学校等の参加による「一斉防災教室」の実施 ・ 報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じた定期的な広報の実施 ・ 防災教室、広報番組、イベント等において、「広島県防災Web」やポータルサイト「みんなで減災 はじめの一歩」などの利用促進 ・ 県内の大規模イベント等における、「みんなで減災」推進大使による呼び掛け ・ 県内の大規模企業への訪問による従業員及びその家族による実施働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域、企業、学校等の参加による「一斉防災教室」を実施した。(5/16～6/17) ・ 報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じて「みんなで減災」推進大使を活用した広報を実施した。 ・ 広報番組において、「広島県防災 Web」やポータルサイト「みんなで減災はじめの一歩」などの利用を促進した。 ・ 新型コロナウイルス感染症の状況を注視した上で、企業への訪問を実施し、マイ・タイムラインの作成を呼びかけた。 ・ 内閣府主催の「ぼうさいこくたい2022」のセッションにオンラインで参加（10月23日） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き新型コロナウイルス感染症の状況を注視した上で、イベント等での広報や企業訪問を検討する。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の利用による「知る」取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の利用による「知る」取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで減災推進課・河川課・砂防課の3課で連携した「ひろしま防災出前講座」の実施（広島地方気象台とも連携） ≪実施済≫153校(2月末まで) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害を可視化するためのVR教材の作成及びその教材を活用した疑似体験の実施 ○ 中小事業者等に事業継続計画(BCP)の策定支援を、引き続き行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ひろしま防災出前講座」での活用や市町等への貸出を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島大学防災・減災研究センター監修で地震・津波災害VRを制作 従来からの3つの支援メニュー「BCPの啓発」「BCP策定支援」「BCP検証机上演習」の受講を通して、新規にBCPの策定に取り組む事業者は次のとおりである。 また、令和3年度から、同業種や異業種の団体組合会員企業向けに、希望団体の所在する地域での出前（出張型）講座を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む ○ 中小事業者等に事業継続計画(BCP)の策定支援を、引き続き行う。

行動目標	取組内容	令和4年度の実施状況	令和5年度の取組内容
知る	<p>1. BCPの啓発（BCPを知る） 県内中小事業者等に対して、BCPの必要性や事業継続のマネジメント体制（BCM活動）の整備を訴える、専門家の「BCP普及推進フォーラム・セミナー」の他に、県職員による企業訪問や、セミナーを実施する。</p> <p>2. BCP策定支援（BCPを策定する） 従来の「BCP策定講座」の他に、内容を厳選して、従来のBCPよりも分量を減らし企業規模や企業の現状を考慮した、より策定しやすい「BCP策定講座」を新設する。</p> <p>3. 共助体制の構築 共助のハブとなりうる、同業組合に対する講座や、サプライチェーンの中核企業やその取引先企業向けの出張型講座（セミナー、策定講座、机上演習）を新設する。</p> <p>4. BCM活動の推進（BCPを検証する） BCPの効果検証等を試みる「机上演習」の他に、演習企画・実施のノウハウを修得できる「机上演習企画運営講座」を新設する。</p> <p>○ 土砂災害警戒区域等の認知度向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 標識設置実施計画に基づく計画的な標識設置の推進 ・ 土砂災害警戒区域等の3Dマップ化における建物等の立体化 ・ AR技術を活用した土砂災害警戒区域等の可視化と土砂災害記録の伝承 	<p>BCPの啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ フォーラム・セミナー 440人 <p>BCP策定支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 策定講座 124社 <p>BCM活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 検証机上演習 56社 <p>○ 土砂災害警戒区域等の認知度向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土砂災害警戒区域等を示した標識を累計で284小学校区に設置 ・ 土砂災害警戒区域等の3Dマップ化における建物等の立体化について、一部地域において運用開始（6月） ・ AR技術を活用した土砂災害警戒区域等の可視化について運用開始（6月） 	<p>1. BCPの啓発（BCPを知る） 県内中小事業者等に対して、BCPの必要性や事業継続のマネジメント体制（BCM活動）の整備を訴える、専門家の「BCP策定推進フォーラム・普及啓発セミナー」の他に、県職員による企業訪問や、セミナーを継続実施する。</p> <p>2. BCP策定支援（BCPを策定する） 「BCP策定講座」の他、内容を厳選して、従来のBCPよりも分量を減らし企業の規模や現状を考慮した、より策定しやすい講座も継続実施する。</p> <p>3. BCM活動の推進（BCPを検証する） BCPの効果検証等を試みる「机上演習」の他に、演習企画・実施のノウハウを修得できる「机上演習企画運営講座」を継続実施する。</p> <p>4. 共助体制の構築 共助のハブとなりうる、同業組合に対する講座や、サプライチェーンの中核企業及びその取引先企業向けの出張型講座（セミナー、策定講座、机上演習）を継続実施する。</p> <p>○ 土砂災害警戒区域等の認知度向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 標識設置実施計画に基づく計画的な標識設置の推進 ・ AR技術を活用し過去の災害記録等を簡易かつ分かりやすく確認できる機能の実装

行動目標	取組内容	令和4年度の実施状況	令和5年度の取組内容
知る	<ul style="list-style-type: none"> ・「呼びかけ避難」ポスターの掲示や、自主防災組織の代表者を対象とした防災教室の開催など、避難につながる取組を推進し、区域指定の効果を高める取組を継続 ○ 「ため池ポータル」による情報の周知 <ul style="list-style-type: none"> （引き続きデータの整理を行い、マップ上で公表するため池を順次拡大する） ○ 山地災害危険地区情報システム（HP）での山地災害危険地区情報の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・「呼びかけ避難」と「率先避難」の避難行動を啓発するメッセージについて、ポスター、チラシ、テレビ・ラジオ等を通じて短期集中的に発信する避難啓発推進キャンペーンを実施（6月） ・自主防災組織の代表者などを対象とした防災教室の開催（11月）、学校安全指導者講習会（10月） ○ 「ため池ポータル」による情報の周知 <ul style="list-style-type: none"> （最新情報への更新を行った（6月、12月、3月）） ○ 山地災害危険地区情報システム（HP）での山地災害危険地区情報の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動を啓発するメッセージをポスターやSNS等の多様なメディアやツールを用いて情報発信する取組や、自主防災組織の代表者を対象とした防災教室の開催など、避難につながる取組を推進し、区域指定の効果を高める取組を継続 ○ 「ため池ポータル」による情報の周知 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き最新情報に更新していく。 ○ 山地災害危険地区情報システム（HP）での山地災害危険地区情報の周知 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き最新情報に更新していく。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 気象情報・防災情報の意味の周知や、防災情報メールへの登録促進 ・報道機関との連携による、テレビ、ラジオ等を通じた、定期的な広報の実施 ・県内の大規模イベント等における、「みんなで減災」推進大使による周知 ・県広報番組、県広報誌等を通じた防災情報メールの登録の呼びかけ ・県内企業を訪問し、従業員及びその家族による登録を働きかけ ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「察知する」取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 気象情報・防災情報の意味の周知や、防災情報メールへの登録促進 ・報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じて「みんなで減災」推進大使を活用した広報を実施した。 ・広報番組において、「広島県防災 Web」やポータルサイト「みんなで減災はじめの一步」などの利用を促進した。 ・新型コロナウイルス感染症の状況を注視した上で、企業への訪問を実施し、マイ・タイムラインの作成を呼びかけた。 ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の利用による「察知する」取組の推進 ・みんなで減災推進課・河川課・砂防課の3課で連携した「ひろしま防災出前講座」の実施（広島地方気象台とも連携） ≪実施済≫153校(2月末まで) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む ・引き続き新型コロナウイルス感染症の状況を注視した上で、イベント等での広報や企業訪問を検討する。 ○ 継続して取り組む

行動目標	取組内容	令和4年度の実施状況	令和5年度の取組内容
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災情報の信頼性を高める取組 ・ 土砂災害警戒情報の精度向上等の検討 ・ 引き続き、土砂災害危険度情報システムを活用した自治体の防災情報発信に係る支援の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災アプリを活用したマイ・タイムラインの作成促進 ・ 昨年「Yahoo!防災速報」にマイ・タイムラインを作成できる機能が実装され、全国で運用開始された。 ・ 防災アプリを活用したマイ・タイムライン作成促進を図るため、折り込みチラシの配布やウェブ広告などの広報プロモーションを実施した。 ○ 防災情報の信頼性を高める取組 ・ 大雨特別警報基準の追加等に伴う土砂災害危険度情報システムの改修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む ○ 新たに LINE を活用したマイ・タイムライン作成ツールの普及促進に取り組む。 ○ 防災情報の信頼性を高める取組 ・ 土砂災害警戒情報の精度向上等の検討 ・ 土砂災害危険度情報システムを活用した自治体の防災情報発信に係る支援の強化
<p>行動する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害の状況に応じた適切な避難行動等の周知や防災訓練等への参加の呼びかけ ・ 報道機関との連携による、テレビ、ラジオ等を通じた、定期的な広報の実施 ・ 県内の大規模イベント等における、「みんなで減災」推進大使による周知 ・ 「一斉防災教室」の実施 ・ 県内企業を訪問し、従業員及びその家族に訓練等への参加を働きかけ ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「行動する」取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害の状況に応じた適切な避難行動等の周知や防災訓練等への参加の呼びかけ ・ 地域、企業、学校等の参加による「一斉防災教室」を実施した。(5/16～6/17) ・ 全県民を対象に一斉地震防災訓練を実施(11月2日) ・ 報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じて「みんなで減災」推進大使を活用した広報を実施した。 ・ 新型コロナウイルス感染症の状況を注視した上で、企業への訪問を実施した。 ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の利用による「行動する」取組の推進 ・ みんなで減災推進課・河川課・砂防課の3課で連携した「ひろしま防災出前講座」の実施(広島地方気象台とも連携) ≪実施済≫153校(2月末まで) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む ・ 引き続き新型コロナウイルス感染症の状況を注視した上で、イベント等での広報や企業訪問を検討する。 ○ 継続して取り組む

行動目標	取組内容	令和4年度の実施状況	令和5年度の取組内容
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普段から災害に備えるため災害に関する正しい知識の習得 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域、企業、学校等の参加による「一斉防災教室」の実施 ・ 報道機関と連携した定期的な広報により、防災教室や防災訓練等への参加促進、災害から命を守る行動などについて周知 ・ 県内の大規模イベント等において、「みんなで減災」推進大使による防災教室の実施 ・ 県内の大規模イベント等における職員による防災教室の実施 ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「学ぶ」取組の推進 ○ 災害を可視化するためのVR教材の作成及びその教材を活用した疑似体験の実施 ○ 県防災 Web に過去の災害記録を掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、災害記録を蓄積し、災害記憶の伝承に向けた取組を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普段から災害に備えるため災害に関する正しい知識の習得 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域、企業、学校等の参加による「一斉防災教室」を実施した。(5/16～6/17) ・ 全県民を対象に一斉地震防災訓練を実施(11月2日) ・ 報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じて「みんなで減災」推進大使を活用した広報を実施した。 ・ 内閣府主催の「ぼうさいこくたい2022」のセッションにオンラインで参加(10月23日) ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の利用による「学ぶ」取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで減災推進課・河川課・砂防課の3課で連携した「ひろしま防災出前講座」の実施(広島地方気象台とも連携) 《実施済》153校(2月末まで) ○ 「ひろしま防災出前講座」での活用や市町等への貸出を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島大学防災・減災研究センター監修で地震・津波災害VRを制作 ○ 県防災 Web に過去の災害記録を掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害記録を蓄積し、災害記憶の伝承に向けた取組を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き新型コロナウイルス感染症の状況を注視した上で、イベント等での広報や企業訪問を検討する。 ○ 継続して取り組む ○ 継続して取り組む ○ 県防災 Web に過去の災害記録を掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害記録を蓄積し、災害記憶の伝承に向けた取組を推進

行動目標	取組内容	令和4年度の実施状況	令和5年度の取組内容
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 砂防出前講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ VR 教材や大型模型など様々なツールを活用した出前講座の実施など効果的な防災教育を推進 ○ 近年多発する山地災害や防災対策への理解を深めるとともに、防災に対する関心を高めていただくため、学生対象の出前講座を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 砂防出前講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 43 小中学校で砂防出前講座を実施 ○ 近年多発する山地災害及び防災対策、治山事業実施の効果などの理解促進を目的として説明会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 砂防出前講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ VR 教材や大型模型など様々なツールを活用した出前講座の実施など効果的な防災教育を推進 ○ 近年多発する山地災害及び防災対策、治山事業実施の効果などの理解促進を目的として説明会を実施する。
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普段から災害に備えるための行動を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 報道機関と連携した定期的な広報により、非常持出品の備えなどについて周知 ・ みんなで減災」備えるフェアの開催 ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「備える」取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普段から災害に備えるための行動を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じて「みんなで減災」推進大使を活用した広報を実施した。 ・ ホームセンターやショッピングセンターなどの生活に身近な場所において、非常持出品の特設コーナーを設置するなど、非常持出品として備えるべきものや、ローリングストックといった備え方の工夫などを周知する「みんなで減災」備えるフェアを開催した。 <ul style="list-style-type: none"> 《開催期間》8/27～9/11（16日間）52 企業（2,748 店舗）参加 《開催期間》3/4～3/20（17日間）54 企業（2,750 店舗）参加 ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「備える」取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで減災推進課・河川課・砂防課の3課で連携した「ひろしま防災出前講座」の実施（広島地方気象台とも連携） 《実施済》153 校（2月末まで） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む <ul style="list-style-type: none"> ・ 「みんなで減災」備えるフェアについては、県民の防災意識が向上する時期を捉え、より効果的に実施するため、令和5年度から6月と1月に実施時期を変更する。 ○ 継続して取り組む